

第二十五回 貴族院議事速記録第二十一號

明治四十二年二月二十四日(水曜日)

午前十時五分開議

議事日程 第二十一號 明治四十二年三月二十四日

午前十時開議

第一 請願委員長報告

第二 登錄稅法中改正法律案(政府提出衆議院送付)

第一讀會ノ續(委員長報告)

第三 明治四十二年度歲入歲出總豫算追加案(第二號)

第一會議(委員長報告)

第四 明治四十二年度特別會計歲入歲出豫算追加案(特第二號)

第一會議(委員長報告)

第五 豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要件(スル件(追第一號))

第一會議(委員長報告)

第六 明治三十七八年戰役ノ爲損害ヲ被リタル者ノ救恤ニ關スル法律案(政府提出衆議院送付)

第一讀會ノ續(委員長報告)

第七 農工銀行法中改正法律案(政府提出衆議院送付)

第一讀會ノ續(委員長報告)

第八 北海道拓殖銀行法中改正法律案(政府提出衆議院送付)

第一讀會ノ續(委員長報告)

第九 明治三十九年各特別會計歲入歲出總決算並明治三十九年度各特別會計歲入歲出決算

第一會議(委員長報告)

第十 明治四十年度臨時軍事費歲入歲出決算

第一會議(委員長報告)

第十一 衆議院議員選舉法中改正法律案(第三十六號)

第一讀會(委員長報告)

第十二 遠洋漁業獎勵法中改正法律案(衆議院提出)

第一讀會ノ續(委員長報告)

第十三 會計法中改正法律案(衆議院提出)

第一讀會ノ續(委員長報告)

第十四 用惡水井路敷設地買上ニ關スル法律案(衆議院提出)

第一讀會ノ續(委員長報告)

- 議長(公爵德川家達君) 是ヨリ諸般ノ報告ヲ致シマス  
〔河井書記官朗讀〕
- 昨二十三日本院ニ於テ承諾スルコトヲ議決シタル左ノ各件ハ即日之ヲ奏上シ又承諾スルコトヲ議決シタル旨ヲ衆議院ニ通知セリ
- 明治四十年度豫備金支出ノ件  
明治四十年度特別會計豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件  
明治四十年度豫備金支出ノ件  
明治四十年度清國事件第二豫備金支出ノ件  
明治四十年度韓國派遣部隊豫備費支出ノ件  
同日本院ニ於テ議決シタル左ノ政府提出案ハ即日裁可ヲ奏請シ又可決ノ旨ヲ衆議院ニ通知セリ
- 特許法改正法律案  
意匠法改正法律案  
實用新案法改正法律案  
商標法改正法律案

## 産業組合法中改正法律案

耕地整理法改正法律案

輸出菓子糖果原料砂糖戾稅法案

## 新聞紙法案特別委員會

委員長 男爵波多野 敬直君

副委員長 男爵菊池 大麓君

同日委員長ヨリ左ノ報告書ヲ提出セリ

同日本院ニ於テ議決シタル衆議院提出裁判所臺灣總督府法院統監府法務院及理事廳ノ判決ノ執行ニ關スル法律案ハ即日裁可ヲ奏請シ又可決ノ旨ヲ衆議院ニ通知セリ

同日本院ニ於テ修正議決シタル衆議院提出辯護士ノ職務並判官評定官檢察官及辯護士ノ在職年限ニ關スル法律案ハ即日之ヲ衆議院ニ回付セリ

同日本院ニ於テ否決シタル左ノ衆議院提出案ハ本院ニ於テ第二讀會ヲ開カサルコトヲ議決シタル旨ヲ即日衆議院ニ通知セリ

## 未成年者飲酒禁止法案

## 競馬法案

同日本院ニ於テ探擇ヲ議決シタル韓國横貫鐵道速成ニ關スル請願及二十六件ノ請願ハ各意見書ヲ付シ即日之ヲ政府ニ送付セリ

同日各特別委員會ニ於テ當選シタル正副委員長ノ氏名左ノ如シ

## 登錄稅法中改正法律案特別委員會

委員長 伯爵松平 賴壽君 副委員長 男爵目賀田種太郎君

明治三十七八年戰役ノ爲損害ヲ被リタル者ノ救恤ニ關スル法律案特別委員會

## 員會

委員長 男爵赤松 則良君 副委員長 男爵前島 密君

日本勸業銀行法中改正法律案、農工銀行法中改正法律案、北海道拓殖銀

## 行法中改正法律案特別委員會

委員長 侯爵細川 護成君 副委員長 小牧 昌業君

會計法中改正法律案特別委員會

委員長 伯爵松木 宗隆君 副委員長 子爵高木 正善君

關稅定率法輸入稅表中改正法律案特別委員會

委員長 子爵入江 爲守君 副委員長 桑田 熊藏君

遠洋漁業獎勵法中改正法律案特別委員會

委員長 村田 保君 副委員長 黒岡 帶刀君

商業會議所法中改正法律案特別委員會

委員長 男爵德川 厚君 副委員長 男爵中島 久万吉君

○議長(公爵德川家達君) 是ヨリ本日ノ會議ヲ開キマス、議事日程第一、請願委員長報告、三宅君

(三宅秀君演壇ニ登ル)

○三宅秀君 今日ハ請願委員會ノ報告ノ最終ノ日デゴザイマスカラ、二段ニ

分チマシタ御報告ヲ致シマスル考ヘ、デゴザリマス、其初メニハ過日報告ヲ致シマシタ後、昨日ニ至リマスルマデノ間ノ報告、第二段ニ至リマシテ本會期ニ總テ請願委員會デ扱ヒマシタルコトヲ通ジテ御報告ヲ致シマスル積リデゴザリマス、三月八日カラ昨日マデニ請願委員會ヲ開キマシタ數ガ六回デゴザリマス、是ハ屢々臨時會ヲ催シマシタル故ニ斯ク度數ガ殖エテ居リマス、請願委員會ノ分科會ヲ開キマシタルコトガ七回ゴザリマス、法制科・租稅科ガ各二回、雜科ガ三回開イテ居リマス、請願文書表ヲ出シマシタルコトガ二回、請願委員會特別報告ヲ出シマシタルコト四回、此間ニ受ケマシタル請願書受領ノ件數ガ五十四件、九十三通デゴザリマス、其内文書表ヘ載セマシタノガ七十九件、百二通デゴザリマス、審議ノ結果、院議ニ付スペシト議決イタシマシタモノガ五十五件ゴザリマス、院議ニ付スルヲ要セズト議決イタシマシタモノガ九十九件ゴザリマス、文書表ニ載セマシタモノ、内デ審査未了ノモノガ六件残ツテ居リマス、文書表ニ未ダ登載イタシマセヌ、昨日マデ受付ケマシタモノガ十件、通數ニ致シマシテ三十一通デゴザリマス、是ダケガ前回報告ノ後、昨日マデノ狀況デゴザリマス、本會期ニ於キマシテ最初ヨリ請願委員會ヲ開キマシタル數ガ十二回、分科會ヲ開キマシタルコトガ二十九回、文書表ヲ出シマシタル總件數ガ二百六十七件、通數ニ致シマシテ三百六十四通文書表ニ載セマシタル所ノ請願ノ件數ガ二百五十七、通數ニ致シマシテ三百三十三通、其内採擇ニナリマシタモノガ百三件、不採擇ニナリマシタモノガ百四十八件、審査未了ノモノガ六件、文書表ニ未ダ載リマセヌモノガ十件、通數ニ致シテ三十一通デゴザリマス、此採擇不採擇ノ總數ハ、委員會デ決シマシテ採擇ベシト致シマシタモノガ本議場デ不採擇ニナリマシタモノモゴザリマスルシ致シマスルカラ、最初ノ御報告ニ申シマシタ數ト總數ニ於テ多少ノ違ヒヲ生ジテ居リマス譯デアリマス、又不採擇ニナリマシタ請願ハ悉ク採ルニ足ラスト云フ意味デハゴザイマセズ、皆サン御承知ノ通り、或ハ法律ガ通過シタリ、豫算ガ協賛ニナリマシタリ致シマシタ爲ニ院議ニ付スルヲ要セズトシテ、即チ不採擇ニナッタモノガアリマスカラ、必シモ不採擇ノ請願ハ皆用ニ立タスト云フ譯デハナイノデアリマス、不採擇ニ致シマシタ請願ト採擇ニナリマシタ請願トガ五十件バカリ件數ノ上デ違ヒガ出來テ居リマスルガ、是ハ當然ノ結果ダラウト本員ハ信ジテ居リマス、ソレカラ前例ニハゴザ

リマセヌヤウニ考ヘマスルガ、此度ハ當議場マデ上ボリマシタ所ノ請願ガ再び取下グニナリマシテゴザリマス、是ハ殆ド常ニ見マセヌ所ノ現象カト考ヘマス、却下シタモノハ當年ハ一通モゴザリマセヌ、此却下ト云フモノガゴザリマセヌ所以ハ、恐ラク請願ヲ受付ケマスル前ニ豫メ委員課デ下見ヲ致シマス、ソレカラ如何ニモ文字ガ哀願ノ體ヲ備ヘテ居リマセヌヤウナ請願デゴザリマスルト、委員長ト相計シテ紹介議員ヲ經テ受付ケズニ戻シマシタカラ、委員ノ手許マデ出テ審議ノ結果デ却下スベシト云フコトニナラヌノデアラウト存ジマス、ソレ故ニ當年ハ表向ノ却下ト云フノハ一件モゴザイマセヌ、以上是マデノ經過デゴザリマス、此段御報告ヲ致シマス

○議長(公爵徳川家達君) 議事日程第二、登錄稅法中改正法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、委員長報告、松平伯爵

〔左ノ報告書ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ載錄ス以下之ニ倣フ〕

#### 登錄稅法中改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

明治四十二年三月二十三日

右特別委員長  
伯爵 松平 賴壽

貴族院議長公爵徳川家達殿

〔伯爵松平賴壽君演壇ニ登ル〕

○伯爵松平賴壽君 登錄稅法中改正法律案ノ委員會ノ經過及結果ヲ御報告イタシマス、此委員會ハ昨二十三日ニ委員會ヲ開キマシテ正副委員長ノ互選ヲ致シマシタ、ソレカラ引續キ會議ニ懸ケマシタノデアリマス、デ政府委員カラモ此案ニ就キマシテ種々説明モゴザイマスシ、最初ニハ一般ノ法令ニ就キマシテ政府委員ノ説明ヲ請ヒマシタ、ソレニハ第三條ノ二ノ中ニ「軌道抵當原簿」ト云フコトガ書イテアリマスガ、是ハ軌道條例ガ出マシタ結果、此所ヘ加ヘタダケデアルト云フ譯デアリマス、其他ニ付キマシテモ總テ今度ノ議會デ以テ議決イタシマシタコトニ付キマシテ此改正ヲ致シタ所以デアルト云フ御話デゴザイマシタ、デ別段サウムツカシイコトモ無イヤウニアリマシタデスガ、唯委員ノ御方カラ此各條ニ付キマシテ民法上或ハ商法上ニ付イテノ字句ノ御説明ヲ政府委員ニ御問ヒニナッタコトガアリマシタダケデ、別段ヒトイ

ムツカシイコトモ無カツタヤウニ私ハ思ツテ居リマス、其次ニ各條項ニ付イ  
テ質問ヲ致シマシタ所ガ、ソレモ極ク僅カデ濟ミマシタ、直グ討議ニ付シマ  
シタ所ガ、皆サン委員ノ御方ドナタモ御異存ガアリマセヌデシタガ、最終ニ  
至リマシテ委員ノ一人カラ御希望ヲ御述べニナリマシタ、ソレハ此法律ト云  
フモノハ今追加豫算ニ加ハツテ居ルノニ、豫算會ノ方ハ先キヘ決議ヲシマシ  
タノニ、此方ハ未ダ茲デ決議ヲスルト云フヤウナ順序ニナツテ居ルト云フノ  
ハ、餘リ面白クナイカラ、此次カラハ此ヤウナコトノ無イヤウニト云フ御希  
望が出マシタ、ソレニ加フルニ法令ガ變ツテ出テ其結果改正スルト云フノハ  
差支ナイガ、ソレニ附帶シテ法令ガ新シク無イノニモ拘ラザルニ、改正ヲナ  
スツタト云フノハ今後ハサウ云フコトノ無イヤウニト云フ御希望デアリマシ  
タ、政府委員モソレニ御同意サレマシテ、以後ハサウ云フコトノ無イヤウニ  
シヤウト云フコトデアリマシタ、ソレデ此改正法律案ハ全會一致ヲ以テ可決  
ヲ致シマシタ、右ノ段御報告ヲ申上ゲマス

○村田保君 此案ハ至ツテ簡単ナ案デゴザイマスカラ讀會ヲ省略ニナリマシ  
タラ宜カラウト思ヒマス、ドウカ皆サンノ御賛成ヲ願ヒマス

○子爵堤功長君 賛成

○子爵青木信光君 賛成

○男爵松平正直君 賛成

○伯爵大原重朝君 賛成

○平山成信君 賛成

○子爵板倉勝達君 賛成

○伯爵廣澤金次郎君 賛成

○中島永元君 賛成

○南郷茂光君 賛成

○男爵武井守正君 賛成

○子爵前田利定君 賛成

〔其他賛成ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 村田君ノ讀會省略ノ動議ニハ定規ノ賛成者ガゴザ  
イマシタ、讀會省略ノ動議ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

○議長(公爵徳川家達君) 三分ノニ以上ト認メマス

○起立者 多數

○議長(公爵徳川家達君) 本案、委員長ノ報告通リテ御異存ゴザイマセヌ力  
シタ所ガ、「異議ナシ」ト呼フ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 本案、委員長ノ報告通リテ御異存ゴザイマセヌ力  
シタ所ガ、第一號、第四、明治四十二年度特別會計歲入歲出豫算追加案、特第二號、  
第五、豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件、追第一號、會議  
委員長報告、曾我子爵

一明治四十二年度歲入歲出總豫算追加案(第二號)

一明治四十二年度特別會計歲入歲出豫算追加案(特第二號)

一豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件(追第一號)

右衆議院ヨリ送付シタル各案ヲ審査シ總テ衆議院議決案ノ通可決スヘキモ  
ノナリト議決セリ依テ及報告候也

明治四十二年三月二十三日

豫算委員長

子爵曾我祐準

貴族院議長公爵徳川家達殿

〔子爵曾我祐準君演壇ニ登ル〕

○子爵曾我祐準君 唯今問題ニナリマシタ三案ノ報告ヲ申上ゲマス、是ハ昨  
日總會ヲ開キマシテ三案トモ原案ノ通り可決イタシマシタ、報告ハ右ダケデ  
アリマス、一言茲ニ希望ヲ申述べタウゴザイマス、此追加案ニ伴ヒマシタ所  
ノ法律ガ二三アリマシテ、其法律案ヲ政府カラ提出サレルコトガ餘り切迫ニ  
ナリマシタ爲ニ、此追加案ニ關係スル所ノ條ニ至ツテ甚ダ面倒ガゴザイマシ  
タ、ソレハ耕地整理法案ナドガ其一デアリマス、願ハクハ此後ハ今少シ早ク  
法案ハ議院ニ提出サレムコトヲ希望イタシマス、其他特許法、意匠法、商標  
法、實用新案法等ノ改正案モ甚ダ切迫ノ時日ニ提出ニナリマシタ、條數少ナ  
カラヌモノデアリマス、何レモ委員會ハ餘ホド御困リテ鵜呑的ニ御議決ニ  
ナツタノデハナイカト推察スルノデアリマス、政府ニ希望スルノハ以後ハ條  
數ノ多イ案、並ニ豫算ト連帶スル案ナドハ今少シク時日ヲ早ク提出ニナラム  
コトヲ希望シマス、是ハ獨リ本員ノ希望ノミナラズ議員多數ノ御希望ト思ヒ

マスカラ茲ニ一言陳述シテ置キマス

○議長(公爵徳川家達君) 別ニ御發言モ 無イト思ヒマスカラ 採決ヲ致シマス、議事日程ノ第三ヨリ第五マデノ豫算案ヲ可トスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵徳川家達君) 過半數ト認メマス

○男爵徳川厚君 私ハ商業會議所法案ノ委員會ヲ開キタイノデアリマスガ、退席シテ宜シウゴザイマスカ

○議長(公爵徳川家達君) 德川男爵カラ特別委員會開會ノタメ退席ノ要求ガ出マシタ、許可ヲ致シテ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者多シ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマスカラ 宜シウゴザイマス

○子爵堀田正養君 チヨット徳川委員長ニ御依頼イタシタウゴザイマス、今日限リノコトデアリマスカラ、成ルベク速ニ御調査アツテ正午マデニ御報告ナサルコトヲ希望イタシマス、ドウカ諸君ノ御賛成ヲ願ヒマス

〔「賛成」ト呼フ者多シ〕

○議長(公爵徳川家達君) 堀田子爵ノ商業會議所ニ關スル法律案ノ審査期限ヲ本日正午マデトシタイ……右ノ動議ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵徳川家達君) 過半數ト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 議事日程第六、明治三十七八年戰役ノ爲損害ヲ被リタル者ノ救恤ニ關スル法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、委員長報告、赤松男爵

明治三十七八年戰役ノ爲損害ヲ被リタル者ノ救恤ニ關スル法律案  
右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

明治四十二年三月二十三日

右特別委員長

男爵 赤 松 則 貞

貴族院議長公爵徳川家達殿

〔男爵赤松則貞君演壇ニ登ル〕

○男爵赤松則貞君 明治三十七八年戰役ノ爲損害ヲ被リタル者ノ救恤ニ關スル法律案、此案ニ付キマシテ御選舉ニナリマシタ委員ハ昨日會議ヲ致シマ

シタ、審議ヲ遂ゲマシテ外務大臣、外務次官、政府委員ノ御出席ガゴザイマシテ、詳ニ説明ガゴザイマシタ、次イデ數十回ノ問答ノ末、本案ハ可決スベキモノト委員一同一致ヲ以テ議決イタシマシタ、此段御報告ニ及ビマス、付

イテ此案ヲ提出ニナリマシタ理由ハ此理由書ニ其意ヲ盡シテ居リマスカラ少シク蛇足ト思ヒマスガ、聊カ政府委員ノ説明ニ依リマシテ此理由ヲ補足イタシタイト存ジマス、此戰役中ニ損害ヲ受ケマシタ者ノ救濟ノ出願ガ各方面ニ涉リマシテ澤山ゴザイマス、其數ハ二千三百九十人、金額ニシマシテ二千八十七万七千五百圓餘ニナツテ居リマス、ソレハ昨年十二月マデノ出願ニ限りマス、政府ハ其損害ノ性質ヲ大別シテ二種ト致シテゴザイマス、是ハ戰鬪行為ニ依ツテ生ジタ損害、第二ニハ戰鬪開始ノ際、敵地ニ在リマシタ者ノ引揚ニ付イテ生ジタル損害デゴザイマス、此ニツニ分ケマシテアリマス、此二種ノ損害ト云フモノハ國家ガ其賠償ノ責ニ任ゼルノハ一般ノ通法ニナツテ居リマスカラ、即チ政府ハ其責ニ任ズルノ義務ガ無イモノト看做シテ居リマス、併ナガラ此三十七八年ノ開戰當時ニアリマシテハ格別ノ事情ガゴザイマシテ軍事上、又政略上ノ見地ヨリシマシテ豫メ我ガ臣民ニ、敵地ニ居ル我ガ臣民ニ警告スルコトガ出來マセヌデシタ、又其臣民保護ヲ委託スル所ノ支那國ノ代表者ガアリマセヌニ依リマシテ、咄嗟ニ引揚ヲ命ジマシタ譯デゴザイマシテ、其悲慘ノ有様、最モ感諒スベキ姿デ、殆ド財産ヲ皆犠牲ニシマシタ姿ニナツテ居リマシテ、ソレデ甚ダ感諒スベキモノデゴザイマスカラ、政府ハ此二種ニ限リマシテ救恤ノ意ガアリマスルノデ、是ガ即チ此法案ノ提出ニナリマシタ大要デゴザイマス、ソレデ委員ハ全體ニ付イテノ異議ガゴザイマセズ同意デゴザイマシタ、全會一致可決シマシタ譯デゴザイマス、此案ハ極ク簡明ナコトデゴザンスルカラ、ドウカ讀會省略ヲ以テ確定セラレムコトヲ望ミマス、諸君ドウカ御賛成ヲ願ヒマス

○南郷茂光君 贊成

○伊澤修二君 チヨット質問、現内閣ハ國債ハ募集セスト云フコトノ財政ノ御経費ガ出來テ居ルト云フコトハ豫ネテ承ツテ居リマス、此第四條ニハ國債證券ヲ發行スルコトヲ得ルト云フ箇條ガアリマス、此事ニ付イテ委員會ニ於テハ何等御質問モ無カツタノデスカ、ソレヲ承リタイ

○男爵赤松則良君 ソレハ何ニモ質問ハゴザイマセヌ  
○伊澤修二君 若シ委員會デ御質問ガ無カッタナラバ、此際ドウゾ政府ヨリ  
御答辯ヲ煩ハシタイト思ヒマス

## 〔政府委員若槻禮次郎君演壇ニ登ル〕

○政府委員(若槻禮次郎君) 如何ニモ此日露戰役ノ場合ニ於テ急ニ引揚グマ

シタ者ニ對シテ救恤金ヲ與ヘマス場合ニハ公債デ與ヘルト云フコトニナツテ  
居ルノデアリマスガ、大體此政府ガ公債ヲ募集セヌト云フコトハ、財政經畫  
ノ全體ニ於テ年々支出スベキ金額ノ所デ大ナル公債ヲ發行シテ何所マデ借金

ヲ繼續シテ行クカ分ラスト云フヤウナ政略ヲ執ラスト云フコトニシマシテ、  
此點ハ何所マデモ之ヲ守ルノデアリマスガ、併シ此僅カノ金額デ、サウシテ  
是ハダヽ一時限リノモノデアリマシテ、之ニ付イテハ唯今豫算モ略、決マッ

テ居リマシテ此財政ノ經畫モ凡ソ歲入歲出ハ斯ウ云フヤウニ充テ、行ク、今  
年ハスウスル、次年度ハスウスルト云フヤウニナツテ居ル際デゴザイマスカラ  
ラ、一方ニハ此救濟ヲ爲ス必要ガアリ、他ノ一方ニハ財政上ノ情況ハ唯今申  
上ゲマスヤウニ次年度以後モ凡ソ見込ヲ立テ、出來テ居リマスカラ、此金額  
ニ對シテハ公債デ交付シタ方ガ相當デアラウ、全ク救助ノコトデゴザイマス  
ルノデ公債デ交付シタ方ガ相當デアラウト云フノデ特例ヲ以テ之ヲ出スコト  
ニ致シマシタノデ、大體ノ公債ヲ出サヌト云フ財政ノ經畫ハ何所マデモ破ラ  
ナイヤウニシテ行ク考デアリマス

○伯爵廣澤金次郎君 讀會省略ニ贊成

○田中芳男君 贊成

○田邊輝實君 贊成

○議長(公爵德川家達君) 村田君ノ議事日程變更ノ動議ニ御異存ゴザイマセ  
ヌカ

## 〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス、是ヨリ政府ノ同意ヲ求メ  
マス、……政府ハ同意セラレマシタ

○議長(公爵德川家達君) 是ヨリ遠洋漁業獎勵法中改正法律案、衆議院提出、  
第一讀會ノ續ヲ開キマス、委員長報告、村田君  
遠洋漁業獎勵法中改正法律案

右別冊ノ通修正セリ依テ及報告候也  
明治四十二年三月二十三日

右特別委員長

村田 保

## 〔其他「賛成」ト呼フ者アリ〕

○伯爵寺島誠一郎君 贊成

○石井省一郎君 贊成

○子爵渡邊昇君 贊成

○大谷嘉兵衛君 贊成

○議長(公爵德川家達君) 讀會省略ノ動議ニハ定規ノ賛成者ガアリマシタ、  
讀會省略ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ願ヒマス  
○議長(公爵德川家達君) 三分ノ二以上ト認メマス  
○議長(公爵德川家達君) 起立者 多數

○議長(公爵德川家達君) 読會省略ノ動議ニハ定規ノ賛成者ガアリマシタ、  
讀會省略ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ願ヒマス  
○議長(公爵德川家達君) 三分ノ二以上ト認メマス  
○議長(公爵德川家達君) 「異議ナシ」ト呼フ者アリ

○議長(公爵德川家達君) 読會省略ノ動議ニハ定規ノ賛成者ガアリマシタ、  
讀會省略ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ願ヒマス  
○議長(公爵德川家達君) 三分ノ二以上ト認メマス  
○議長(公爵德川家達君) 起立者 多數

〔特別委員ノ修正ニ係ル部分ノミナシ〕  
〔錄ス小字ハ修正、ハ同削除ノ符號〕

第一條中「豫算ノ定ムル所ニ依リ」毎年度十五萬圓以内「ヲ「每年豫算ヲ以テ定ムル所ノ金額」ニ改ム

第二十一條中「明治三十八年四月一日ヨリ八箇年間」ヲ「明治四十二年七月一日ヨリ十五箇年間」ニ改ム

本法ハ明治四十二年七月一日ヨリ之ヲ施行ス

附則

〔村田保君演壇ニ登ル〕

○村田保君 是ヨリ本案ノ委員會ノ結果ヲ御報告ニ及ビマス、此委員會ハ昨日午前十時ヨリ開キマシテ、委員諸君ニハ一人モ缺席ナクシテ皆御揃ヒニナリマシタ、第一ニ御質問ニナリマシタノハ、此案ハ衆議院ニ於キマシテ、政府ガ全然同意ヲシテ居ルヤウニ速記錄ニハ見エルガ、ソレニ相違ナイカト云フコトノ質問ガ第一ニ起リマシテ、政府委員ガ之答ヘラレマスノニ、政府ハ第一條ト此末項ノ第二十一條、此二ツヲ削除スレバ同意ダガ、此第二箇條ハ政府ハ全然反対デアルト云フコトヲ衆議院ノ會議ノ席ニ明カニ述べタ云フコトデゴザイマス、ソレデ又或ル委員ヨリ政府ハ何故ニ此一條ト二十一條ニ反対ダ、其反対ナル理由ヲ明カニ示セト云フコトデゴザイマシタ、ソレデ政府委員ノ答ヘラレマスニハ此第一條ハ「豫算ノ定ムル所ニ依リ毎年度十五萬圓以内」ト云フコトガゴザイマスルノヲ、衆議院デハソレヲ削リマシテ「毎年豫算ヲ以テ定ムル所ノ金額」ト致シタ、毎年豫算ヲ以テ定ムル所ノ金額ト云フコトニナリマスルト、一體衆議院ガ十五萬圓以内ト云フコトヲ削ッテ、サウ云フ豫算ニ定ムル金額ト云フコトニ修正ニナツタト云フ趣意ハ、金額ヲ殖ヤシタイト云フ考カラ是ハ起ツタモノニ相違ナイ、シテ見ルト是ハ今金額ヲ増スト云フコトハ、財政ノ經畫上、政府ガ同意ノ出來ナイノモ一つノ原因デ、又斯ウ毎年定ムル所ノ金額ト掲ゲルトキハ或ハ是レガ減ズルコトニナルカモ知レヌト云フヤウニ解釋スルコトモ出來ル、サウ云フコトデハ甚ダ此金額ト云フモノハ不定ナモノデ、段々監査費ト云フヤウナモノハ決マツテ居ルカラ、是等ニモ大ニ差支ヲ生ズルカラシテ、却ツテ不定ナコトニナツテハ大ニ困ルコトデアル、ダカラ是ニハ同意ガ出來ヌト云フコトデアリマシタ、ソレカラ又末項ノ二十一條ニハ「明治三十八年四月一日ヨリ八箇年間」トアリマ

スノヲ、ソレヲ削リマシテ「明治四十二年七月一日ヨリ十五箇年間」ト云フコトニ改正ラシタイ、是モ矢張リ此政府ガ財政經畫ノ上ニ於テ今之ヲ十五箇年ト云フコトヲ明カニ書イテ加ヘルト云フコトハ政府ハ咄嗟ノ場合ニ、贊成ハ出来ヌ、ソレデ政府ハ八箇年經テバ是ハ無效ノモノト見テ居ルカラ、マダ四箇年モアルモノヲ今日カラ十五箇年ト云フコトヲ加ヘルト云フコトハ、ドウモ政府ハ同意ガ出來ヌト云フコトデアリマシタ、サウ云フ理由ヲ以テ此一條ト二十一條ニ政府ハ全然反対デアル、其他ノ條ニ於テハ政府ハ別ニ反対ナコトハ無イト云フコトデアリマシタ、ソレデ其他種々委員諸君カラ質問ガアリマシタガ、ソレハ隨分多イコトニ涉ツテ居リマスカラ、却ツテ煩雜ニ涉ルダラウト存ジマスカラ、別ニ委員中ノ質問等ノコトハ申上ダマセヌ、ソレカラ大體會議ニ移リマシテ、成ルホド政府ノ言ハレル一條ヲ削除セラレルコト、或ハ此末項ヲ削ラル、コトヲ委員會ニ於キマシテモ殘ラズ是ハ其最モ必要ナルコト、認メマシテ、全會一致ヲ以テ矢張リ之ヲ削除スルコトニ決シマシタノデアリマス、ソレカラアトノ殘リマスル條ト申シマスルモノハ、是ハ委員ニ於キマシテ何レモ皆是ハ尤モナル改正デアル、極ク必要ナル改正ト云フコトヲ認メマシテ、ソレモ全會一致ヲ以チマシテ是ダケヲ贊成ヲ致シマシタノデアリマス、ソレデ其賛成ヲ致シマシタル理由ヲ一應簡單ニ申上ダヤウト存ジマス、其第四條中ノ「第三號」ヲ削ルト云フ修正デゴザイマス、是ハ第三號ハドウ云フコトダト申シマスルト云フト、漁獵夫ニハ滿一箇年十二圓ト云フ獎勵金ヲヤルト云フコトニナツテ居ル、然ルトコロ是ハ實際一向獎勵ニナラナイ、ト申シマスルモノハ此漁獵夫ナド、申シマスルモノハ一箇年マルデ漁獵ニ從事スルコトハ出來ナイ、大概多クハ六箇月グラキノモノハ多イモノデアル、サウ致シマスルト、是ハ月割デヤルト云フコトニナル、ソレデ實際獎勵ニナラヌノミナラズ、却ツテソレヲ今日デハ賣買ラシテ居ルト云フヤウナ有様デアル、又ソレノミナラズ是ハ手數ガ掛カル、尤モ此漁獵夫ト云フモノハ多イモノデアリマスカラ、圓シカヤラヌト云フコトニナル、ソレデ實際獎勵ニナラヌノミナラズ、却ツテソレヲ今日デハ賣買ラシテ居ルト云フヤウナ有様デアル、又漁獵夫ノ方ニ於テモ甚ダ不便、官民共ニ是ハ不便デアル、寧ロ是ハ廢メタ方ガ宜イト云フノガ實業家アタリノ希望デアル、ソレ故ニサウ云フ無益ナモノヲ獎勵スルノ必要ハナイ

ト云フノデ削ルコトニ致シタ、ソレモ誠ニ當然ナ削除ト認メマシテ贊成イタシマシタ、ソレカラ『第四條、第六條第一項及第七條第二項中「漁獵員」ヲ「漁獵職員」ニ改ム』是ハ第四條ノ三號ヲ削リ「シタ結果デ漁獵員ト申スト漁獵夫マデ這入リマスカラ改正ニナリマシタ譯デアリマス、「漁獵職員」ト斯ウ改正ヲ致シタノデアリマス、ソレカラ改正ヲ致シマシタ第五條デス、第五條ハ現行法デ申シマスルト云フト、「主務大臣ハ豫メ認可シタル方法及設計ニ依リ遠洋漁船検査規程ニ定ムル」云々ト云フコトニナツテ居ル、然ルトコロ是モ實際ハ餘ホド官民ノ不便ヲ感ジテ是ガ修正ニナツタモノデアル、ト申シマスルモノハ、「豫メ認可シタル方法」トゴザイマスルカラ、豫メ矢張リ其検査ヲシナク、ヤナラヌ、ソレデマア第一、其船ノ材料ヲ検査スルト云フコトニ實際ナツテ居ル、船ノ材料ヲ検査スル、サウシテ構造ヲ検査スルトカ云フヤクナ、ナカレデ是モ此造船場ノ指定場所外デ多ク造リマスルモノ故ニ検査官吏ノ旅費マデモ是ハ矢張リ出サナケレバナラヌト云フコトデアル、實ハ餘ホド其實際實業家ト云フモノハ餘ホド不便ヲ感ジ、又政府ノ方デモ無益ナル手數ヲ掛ケル、此検査規程ニ違反シテ拘ヘタモノハ獎勵金ヲヤラヌダケノコトデアル、此規程ニ嵌マツテ居ルカ居ナイカラ見サヘスレバ宜イモノヲ、故ラニ豫メサウ云フコトヲスルト云フノハ實ニ雙方ノ不便ノモノデアリマスカラ、之ヲ衆議院デ削ッタト云フノハ誠ニ當然ナル削除ト認メマシテ、是ニモ贊成ヲ致シマシタ、ソレカラ此「冷藏機械ヲ据附ケ」ト云フコトガ、第五條ノアトノ方ニ二行目ニゴザイマスルガ、「日本船舶ニ新造ノ機關、冷藏機械ヲ据附ケ」トアル此「冷藏機械ヲ据附ケ」ト云フコトヲ今回ハ入レタノデゴザイマス、此冷藏機械ヲ据附ケルコトハ最モ是ハ必要デ、是ハ獎勵ヲシナケレバナラヌコトデアリマス、ナゼト申シマスレバ、既ニ検査規程ニ依ツテ鮮魚ヲ運搬シマスルニハ、成ルベク温度ノナイヤウナ構造ヲシナケレバナラヌト云フコトモ規程ニ定マツテアリマスル位ノ譯デアル、所ガ是ハ冷藏機械ヲ据附ケテ居ルモノデアルガ故ニ、魚ガ少シモイタマヌデ來ル、所ガ今日ハ十艘サウ云フモノガ出來テ居リマス、是ハ既ニ朝鮮海ノ鮮魚ヲ關西地方ハ勿論、今日ハ日本橋マデ持ツテ來テ居ル、東京市内マデ朝鮮海ノ鮮魚ヲ食ベテ居ル、是ハ全ク冷藏機械ガゴザイマスルガ故ニ、鮮魚ヲ數百里先キノモノヲバ貯ヘテ來ルト云フコトガ出來マスル

カラ、是等ハ最モ獎勵シテ宜イ譯ノモノデアリマスカラ、之ヲ加ヘラレタト云フノモ是モ餘ホド至當ナル修正ダト存ジマス、ソレデ是ニモ皆贊成ヲ致シマシタ譯デアリマス、此元ハ現行法ニハ「石油發動機關」トアッタ所ガ衆議院ニ於キマシテ「石油」ト云フ字ヲ削ツタ、ナゼ削ツタカト申シマスルト、今日ハ石油發動機バカリデハナイ、瓦斯發動機デモ出來ルト云フコトニナツテ居ルカラ、獨リ石油バカリニ限ルト云フノハ穩カデナイト云フノデ石油ト云フ字ヲ削リマシタ、是モ誠ニ當然ナル修正ト認メマシタ、ソレデ是モ贊成イタシタ譯デアリマス、ソレカラ此ニ「冷藏機械冷却力製水量每一噸」ト云フコト、ソレデ此蒸氣或ハ發動機ハ馬力ヲ以テ検査率ヲ立テラレマスガ、冷藏機械ニ於キマシテハ、ドウシテモ此冷却力ト云フモノヲ以テ率ヲ定ムルヨリ仕方ガナイノデアリマスカラ、ソレデ製水量每一噸ニ付イテ補助ヲスルト云フコトヲ加ヘラレマシタ、是モ當然ノコト、認メマシタ、ソレカラ今度此「主務大臣ハ漁船ノ改良ニ關シ特ニ其ノ指定シタル方法及設計ニ依リ造船術ト云フモノガ次第ニ進歩シテ來マシテ、政府ニ於テモ今度ハ斯ウ云フガ加ハリマシタ、是ハ全ク新ニ加ハッタノデアリマスガ、是ハ斯ウ云フ趣意ヲ有ツテ居ル、普通ハ斯ウ云フ漁船ノ検査規程デ以テ造リマスルガ、今日段々此造船術ト云フモノガ次第ニ進歩シテ來マシテ、政府ニ於テモ今度ハ斯ウ云フ漁船ヲ造ツテ見タク、斯ウ云フノラ造ツタラバ完全デ宜カラウト云フヤクナ主務大臣ニ於テ考ヘマシタトキニ、ソレニ應ジテ主務大臣ノ指定スル通リノ船ヲ造ル者ニハ、此一項ニアリマスル所ノ此獎勵金ヨリ餘計ノ金額ヲヤル、其代リニハ主務大臣ノ指定シタ通リノ物ヲ造ラナケレバナラヌ、其場合ニハ是ダケノ餘計ノ獎勵ヲヤルト云フコトヲ今度ハ設ケマシタ、是モ隨分コレカラ段々造船術ノ發達ニ從ヒマシテハ隨分主務大臣トシテハ斯ウ云フ船ヲ造リタイト云フ考ガアルニ違ヒナイ、當業者ノ方ニモ尙ホ政府ニ於テ十分ナル研究シタモノヲ造リタイト云フ者ガ出來ルニ相違ナイ、サウ云フ場合ニハ極ク必要ナルモノト認メマシテ贊成ヲ致シマシタ、ソレカラ「第十一條ニ左ノ一項ヲ加フ」「主務大臣ハ必要ト認メタル場合ニ於テ漁船船員ノ養成及振濟ノ業務ヲ執行スル營利ヲ目的トセサル法人ニ對シ」コレノモノヲ「下付スルコトヲ得」ト云フコトガ加ハリマシタ、是ハ主務大臣ガ必要ト認メタ場合、今日ノ漁夫ト云フモノハ教育モ何モナイカラ是非漁夫ノ養成ト云フコトヲ致サナ

ケレバナラヌ、ソレデ前ニ除キマシタ今日ノヤウナ漁夫ノア、云フヤウナ獎勵金ハ取ツテ斯ウ云フヤウナ有益ナコトニ興ヘルコトニシテ欲シイ、ソレデ適當ナル漁夫ヲ養成シタリ又ハ漁夫ノ掖濟デゴザイマス、漁業上怪我ヲシマシテ廢疾篤疾ニナツテ漁業ノ出來ナイ者、サウ云フ者ヲ救濟スルト云フコトハ極ク必要ナコトデゴザイマス、サウ云フヤウナ法人ガアレバ、サウ云フモノニ幾分ヲ與ヘテ此途ヲ獎勵スルコトハ極ク必要ダラウト云フ趣意デ出來マシタモノデ、是ハ固ヨリ主務大臣ガ必要ト認メナイ場合ハ與ヘマセヌガ、必要ト見タ場合デアリマス、是モ尤モナル修正ト存ジマシテ是モ委員會ニ於キマシテハ全會一致ヲ以テ賛成イタシマシタ、總テ是ダケノコトハ委員ニ於キマシテハ一ノ反對モ無クシテ賛成ヲ表シマシタ譯デアリマス、ソレカラ此附則ハ實ハ政府委員カラ要求モゴザイマシテ是ハ俄ニ直グト云フ譯ニハ行カヌ、ソレデ本年ノ七月一日ヨリ施行スルト云フコトニ施行期限ヲ掲ゲナケレバナラスト云フ要求ガゴザイマシテ、是ニモ委員ガ同意ヲ表シマシタ譯デゴザイマス、ソレデ大要右ノ如ク、デアリマスカラ、委員會ニ於キマシテハ全會一致ヲ以テ此通り修正可決イタシマシタ、ドウゾ滿場諸君モ御賛成ヲ願ヒタイト思ヒマス、付キマシテハ此案ハ極ク別ニムツカシイコトモゴザイマセズ、簡單ノモノデゴザイマスカラ讀會ヲ省略セラレマシテ、ドウゾ御決議アラムコトヲ偏ニ望ミマス

○田中芳男君 チヨット委員長ニ御尋ね致シタウゴザイマス、此五條ニ於キマスルト、總テ船ヲツクルト云フコトハ「構造」トカ「新造」トカ「造」ト云フ字ガ書イテアル、然ルニ次ノ所ニナリマスト「交造」ト云フ字ガアリ「鋼製」「木製」ト云フ「製」ト云フ字ニシテアル、「製」ノ字ト「造」ノ字トドウ云フ譯デ區別ガアリマスカ、承リタイ

○村田保君 別ニ私モ研究イタシマセヌガ「ツクル」ト云フ字デアリマスカラ  
變ツタコトハナイト存ジマスガ、多クノ場合、船ハ構造ノ場合ハ「構造」ト使ツテアリ製作ノトキハ「製作」ト使ツテアルヤウニ思ヒマス、他ニ深イ意味ガアルコトデハナイト思ヒマス

○伯爵吉井幸藏君 讀會省略ニ賛成

○田邊輝實君 賛成

○黒岡帶刀君 賛成

○湯地定基君 賛成

○伯爵大原重朝君 賛成

○伊澤修二君 賛成

○子爵板倉勝達君 賛成

○子爵青木信光君 賛成

○男爵眞田幸世君 賛成

○子爵堤功長君 賛成

○大谷嘉兵衛君 賛成

○議長(公爵徳川家達君) 讀會省略ノ動議ニハ定規ノ賛成者ガゴザイマシタ、讀會省略ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵徳川家達君) 三分ノニ以上ト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 本案、委員長報告通リデ御異存ゴザイマセヌカ  
〔「異議ナシ」と呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 議事日程第七、日本勸業銀行法中改正法律案、第八、農工銀行法中改正法律案、第九、北海道拓殖銀行法中改正法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、委員長報告、細川侯爵

日本勸業銀行法中改正法律案  
右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

明治四十二年三月二十三日

右特別委員長

侯爵 細川 謹成

貴族院議長公爵徳川家達殿

農工銀行法中改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

明治四十二年三月二十三日

右特別委員長

侯爵 細川 謹成

## 貴族院議長公爵德川家達殿

北海道拓殖銀行法中改正法律案  
右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

明治四十二年三月二十三日

## 右特別委員長

侯爵 細川 護成

## 貴族院議長公爵德川家達殿

## 〔侯爵細川護成君演壇ニ登ル〕

○侯爵細川護成君 唯今議題ニ上ボリマシタ所ノ日本勸業銀行法中改正法律案外二件、即チ農工銀行法中改正法律案、並ニ北海道拓殖銀行法中改正法律案、此三案ノ委員會ノ結果ヲ御報告ニ及ビマス、此日本勸業銀行法中改正法律案ハ第十五條ノ二項、農工銀行法中改正案ハ第六條ノ四號並ニ第七條ノ二號、ソレニ北海道拓殖銀行法中改正案ハ第八條ノ第三項デアリマス、昨日我同一位員ニ付託ニナリマシタニ依ッテ、午後委員會ヲ開キマシテ、政府委員ノ出席ヲ請ヒマシテ政府委員ノ説明モアリマシタシ、又多少ノ質問モアリマシタ、要スルニ此三案ノ改正案ハ此理由書ニ書イテアリマス通リニ此度耕地整理法並ニ産業組合法ガ改正ニナリマシタル結果ト致シマシテ、即チ此耕地整理法並ニ産業組合法ガ改正ニナリマシタル自然ノ結果、斯ウ改正ニナラヌケレバナラヌト云フ譯デアリマス、依ッテ委員會ニ於キマシテハ今申上ゲマスルヤウニ多少ノ質問モアリマシタケレドモ、此耕地整理法ト産業組合法ノ改正ノ自然ノ結果デアリマスカラシテ、一人ノ反対者モ無ク原案可決ト委員會ニ於キマシテハナリマシタ次第デアリマス、ソレデ私ハ此案ハ昨日晝ゴロ始メテ見マシテ十分研究スル暇モゴザイマセヌ、デ委シキコトハ能ク存ジマセヌ、ソレデ若シ御質問等ガゴザイマスレバ政府委員カラ御答辯ヲ願ヒマス、茲ニ此三案ノ委員會ニ於キマシテ可決ニナリマシタコトヲ申上ゲテ置キマス。

○男爵田健治郎君 政府委員カラ御説明ヲ願ヒタウゴザイマス、此勸業銀行ノ改正案ニハ耕地整理ノコトガアリマス、ソレカラ此農工銀行ニハ耕地整理ト産業組合ニ貸付ケルヤウニナツテ居リマス、又北海道拓殖銀行ニハ産業組合ダケニナツテ居リマス、北海道ニ於テハ耕地整理ハ施行ニナツテ居リマスマイカラ、産業組合ダクト云フ意味ハ分リマスガ、此勸業銀行ト農工銀行ハ

略、同ジヤウナ趣意デ出來テ居ル銀行デアルニ拘ラズ、農工銀行ニハ産業組合ヲ加ヘルコトハ出來ナイ理由ガアルノデアリマスカ、一緒ニアツテモ宜サ、ウニ思ヒマス、チヨット……

## 〔政府委員勝田主計君演壇ニ登ル〕

○政府委員(勝田主計君) 唯今ノ御問ニ御答ヲ致シマスルガ、勸業銀行法ニ於キマシテハ産業組合ニ對シマシテ貸付ケルト云フ規定ガ無イノデアリマス、此趣意ハ本來此勸業銀行ト申シマスルモノハ不動產ヲ抵當ト致シマシテ、即チ土地ヲ抵當ト致シマシテ貸付ヲスルト云フコトガ本來ノ機能ニナツテ居リマシテ、尙ホ例外ト致シマシテ極ク確實ナルモノニ對シマシテハ無擔保デ以テ貸付ケル、即チ公共團體、ソレカラ耕地整理ノ如キモノニ對シテハ無擔保デ貸付ケルト云フ規定ニナツテ居リマスノデアリマス、ソレデ若シ産業組合ト云フモノヲ入レルト云フコトニナリマスルト云フト、無擔保ノ貸付ノ範圍ヲ擴張スルトスウ云フコトニナリマスルノデ、此銀行ノ基礎カラ申シマスルト云フト、多少ノ如何ハシイ點ガゴザイマスルノデ、尙又産業組合ノ場合ニ於キマシテ此定期償還ノ場合デアリマスガ、此定期償還ノ場合ニ於キマシテハ是ガ御承知ノ如ク勸業銀行法ニ於キマシテ勸業債券ヲ發行スルニ付キマシテハ年賦償還ノ貸付高、是ガ基礎ニナツテ居リマスノデ、一方ニ此定期償還外ノ貸付ト云フモノヲ殖ヤシマスルト云フト、勸業債券ヲ發行イタシマスル其見返リニナラナイト、斯ウ云フヤウナコトニナルノデアリマスルノデ、ソレデ旁、舊來カラ致シマシテ勸業銀行ノ方ニハ産業組合ノ如キモノニ貸付ケルト云フ規定ヲ省イテアリマス、大體サウ云フ次第デアリマス。

○侯爵細川護成君 別ニ御質問モゴザイマセヌケレバ、此案ハ今申シマシタ通リ耕地整理法並ニ産業組合法ノ改正ノ結果デアリマスカラ、極ク單純ナ案デアリマスルカラ、此三案トモ讀會省略ヲ以テ可決セラレムコトヲ望ミマス。

○男爵松平正直君 贊成

○男爵武井守正君 贊成

○伯爵柳原義光君 贊成

○男爵楫取素彦君 贊成

○子爵山口弘達君 贊成

- 小牧昌業君 賛成
- 男爵野田裕通君 賛成
- 子爵青木信光君 賛成
- 男爵田健治郎君 賛成
- 伊澤修二君 賛成
- 〔其他「賛成」ト呼フ者多シ〕
- 議長（公爵德川家達君） 細川侯爵ノ讀會省略ノ動議ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ  
請ヒマス
- 起立者 多數
- 議長（公爵德川家達君） 三分ノ二以上ト認メマス
- 議長（公爵德川家達君） 三案トモ委員長ノ報告通リテ御異存ゴザイマセヌ  
カ
- 議長（公爵德川家達君） 御異議ナイト認メマス
- 〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕
- 議長（公爵德川家達君） 議事日程第十、明治三十九年度各特別會計歳入歳出總決算並  
明治三十九年度各特別會計歳入歳出決算、第十一、臨時軍事費歳入歳出決算、  
會議、委員長報告、二條公爵
- 明治三十九年度歳入歳出總決算、  
既往年度検査未確定金額ノ検査確定セシモノ及臨時  
審査スルニ明治三十九年度歳入歳出總決算、  
明治三十九年度各特別會計歳入歳出決算ヲ  
收入中ノ北海道廳室蘭支廳ノ徵收ニ係ル件デゴザイマスガ、是ハ一ツハ北海  
道廳室蘭支廳ノ徵收ニ關スル件デ、膽振國室蘭郡室蘭町大字札幌通字エトッ  
ケレッブ原野十三万三千三百七十七坪、同郡輪西村字エトッケレッブ原野九  
万三千三百九十七坪、合計ヲシマスレバ二十二万六千七百七十四坪ノ拂下代  
價ノコトデアリマス、是ハ其時ノ時價ヨリモノ餘ホド低廉ニ拂下ゲタト云フコ  
トデアリマス、簡單ニ述ベマス、大體ノコトヲ申シテ置キマスガ、ソレカラ  
モウツノハ矢張リ北海道ノ同郡ノ輪西村輪西原野四万二千百二十二坪ノ拂  
下代價ノコトデアリマス、是モ同様ニ矢張リ或ル方法ニ依ツテ原價ニ於テ  
餘ホド價格ノアルモノヲ特別ノ低價デ以テ拂下ゲタト云フコトデアリマス、  
ソレカラモウツノハ同國ノ勇拂郡苦小牧村大字苦小牧原野五十三万三千六百  
二坪ノ拂下代價ノコトデアリマス、是モ同様ノコトデ、矢張リ價格以外ノ低  
廉ヲ以テ拂下ゲタト云フコト、ソレカラモウツノハ同國幌別郡幌別村ライ  
バ原野ノ八千三百八坪ノ拂下代價、是モ同様ノコトデ、其價格ト云フモノハ  
沼某ノ所有ニ係ル同市小町市街宅地トヲ官有地取扱規則ニ依リ交換シタル  
件、歲出經常部海軍省所管第二款軍事費第三項修繕費横須賀海軍經理部ノ  
支出ニ係ル件、臨時軍事費第一項臨時軍事費陸軍省

所管陸軍會計監督部ノ支出ニ係ル件、關東都督府ノ支出ニ係ル件、海軍省  
所管海軍煉炭製造所及吳海軍經理部ノ支出ニ係ル件、佐世保海軍經理部ノ  
支出ニ係ル件ニ關スル政府ノ辯明ハ穩當ヲ闕クモノアリト雖別ニ決議案ヲ  
提出スルノ必要ヲ認メスト議決ス依テ及報告候也

明治四十二年三月二十三日

- 議長（公爵德川家達君） 細川侯爵ノ讀會省略ノ動議ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ  
請ヒマス
- 〔公爵二條基弘君演壇ニ登ル〕
- 貴族院議長公爵德川家達殿

決算委員長  
公爵 二 條 基 弘

○公爵二條基弘君 是ヨリ唯今問題ニナツテ居リマスル明治三十九年度歳入  
歳出總決算、明治三十九年度各特別會計歳入歳出決算ノ委員會ニ付キマシテ  
ノ御報告ヲ致シマス、此明治三十九年度ノ歳入歳出決算、明治三十九年度各  
特別會計歳入歳出決算、既往年度検査未確定金額ノ検査確定セシモノ及臨時  
軍事費歳入歳出決算ト云フモノ、調査ヲ致シマシタ所、明治三十九年度ノ歲  
入歳出總決算ノ歳入經常部ノ第三款官業及官有財產收入ノ中ノ第二項ノ森林  
收入中ノ北海道廳室蘭支廳ノ徵收ニ係ル件デゴザイマスガ、是ハ一ツハ北海  
道廳室蘭支廳ノ徵收ニ關スル件デ、膽振國室蘭郡室蘭町大字札幌通字エトッ  
ケレッブ原野十三万三千三百七十七坪、同郡輪西村字エトッケレッブ原野九  
万三千三百九十七坪、合計ヲシマスレバ二十二万六千七百七十四坪ノ拂下代  
價ノコトデアリマス、是ハ其時ノ時價ヨリモノ餘ホド低廉ニ拂下ゲタト云フコ  
トデアリマス、簡單ニ述ベマス、大體ノコトヲ申シテ置キマスガ、ソレカラ  
モウツノハ矢張リ北海道ノ同郡ノ輪西村輪西原野四万二千百二十二坪ノ拂  
下代價ノコトデアリマス、是モ同様ニ矢張リ或ル方法ニ依ツテ原價ニ於テ  
餘ホド價格ノアルモノヲ特別ノ低價デ以テ拂下ゲタト云フコトデアリマス、  
ソレカラモウツノハ同國ノ勇拂郡苦小牧村大字苦小牧原野五十三万三千六百  
二坪ノ拂下代價ノコトデアリマス、是モ同様ノコトデ、矢張リ價格以外ノ低  
廉ニ失シテ居ルコトデ、是等ハ委員會ニ於キマシテハ其時價ノ相當ナルコ  
トデ拂フベキモノヲ或ル者ノ利益ノ爲ニ北海道廳ノ方ガ斯様ナ低廉ニ拂下ヲ  
爲シタト云フコトハ實ニ不當ナ事デアリマシテ、其處置タルヤ實ニ言語ニ絶

エタル次第デアリマスル、是等ハ全ク其監督上ノ不行届ノコト、認メタノデアリマス、ソレカラ其次ガ北海道廳上川支廳、室蘭支廳及岩内支廳ノ徵收ニ係ル分、是ハ官有林、土地デハナタシテ蝦夷松ヤラ其他千九百四本、此見積高ガ一万八千六百三十六尺ペ餘ノ拂下代ト云フモノガ、是ハ北海道ノ官設鐵道ノ方ノコトニ使フ積リテ拂下ゲタノデアリマスルケレドモ、此運搬ノ詰リ方法ト云フモノガ、其工事ガ終ツテ後ニ總テノ搬出ヲ終ツタト云フヤウナ話、實ニ緩慢ナ次第デアルノデス、ソレカラモウ一ツハ石狩國空知郡上富良野村「エホロカアンベツ」官林樅松外三種ノ立木二千六百二十三本ヲ拂フ、其材積ガ一万八千六百六十九尺ペ餘リノモノデアリマスルガ、是等モ矢張リ其手續ト云フモノガ矢張リ緩慢ニ失シテ、初メカラ定メタ通リニ、總テ其本ノ拂下ヤ運搬ヲ爲サヌト云フコトデアリマス、ソレカラ其次ガ北海道廳上川支廳、室蘭支廳及增毛支廳ノ徵收ニ係ル件デゴザイマス、是モ矢張リ材木ノ方デゴザイマシテ、是ハ同支廳管内ノ官林ノ蝦夷松外一種立木三万五百二十三尺ペ餘リノモノデゴザイマシテ、其拂下代價ニシテモ皆是ハ鐵道作業局ニ納付シテ、其方デ使フ筈デアリマスケレドモ、其名ハ公益ト云フコトヲ名ニシテアリマスガ、其實ハ營利ノ目的ニ使用シタト云フコトデアリマスレバ、甚ダ其仕方ハ不當ナルコトデ穩當ヲ缺クト云フコトニナリマス、是モ甚ダ宜シクナイト云フコトニ委員會デハ議決イタシテ居リマス、其次ハ北海道廳上川支廳、壽都支廳及室蘭支廳ノ徵收ニ係ル件、並ニ歲入臨時部ノ第一款……是ハ後ニ致シマセウ、此壽都ノ支廳ノコトハ是モ矢張リ後志國磯谷郡南尻別村蘭越内官林ノ樅松外三種立木三百六十四本、此材積千八百五尺ペ餘ノ拂下代デアリマスガ、是ハ其使用スルノハ北海道廳ノ小樽築港ノ事務所ニ納付スベキ約束デアリマシタガ、實際之ヲ能ク調べテ見ルト餘リ此拂下ノ木ノ數ガ工事ヨリモ餘計ニ拂下ゲテアルト云フコトデアリマス、是ハ甚ダ穩當ナル仕方デナイ方法デ過當ナ處分ヲ爲シタト云フコトデアリマシテ、委員會ニ於キマシテハ是ハ穩當ナ方法ヲ缺イタ處置デアル、穩當ナ處置デナイト云フコトニ議決イタシタ譯デアリマス、ソレカラ歲入臨時部第一款ノ官有物拂下代第二項、地所拂下代中北海道廳札幌支廳ノ徵收ニ係ル件、是ハ明治三十九年ノ五月ニ北海道札幌區ニ對シ同區北三條東一丁目官有市街宅地三千六百坪ノ内三千二百四十坪ヲ拂下ゲタ代價ノコトデアリマス、即チ其代價ハ四千五百三十六圓デアリマスガ、此代價ヲ……三百六十坪ハ無償デ讓與ヲ爲シタ、償ヲ取ラズニ

讓與シタト云フコトデアリマス、此事ハ即チ法規ニ悖反シタコトデアツテ、無代價デ土地ヲ讓與スルト云フコトハ……讓與シ且ツ低價ヲ以テ土地ヲ拂下ゲタト云フコトハ國庫ニ於テ多大ナル損害ヲ受ケタモノデアルト云フコトデ、甚ダ其處置ガ穩當ナラズ不當ト云ツテモ宜イト云フコトニ委員會デハ決シマシタ、ソレカラ其次ハ北海道廳札幌支廳ノ徵收ニ係ル件……今ノハ申シ損ヒマシタ、北海道廳空知支廳ノ徵收ニ係ル件、是ハ石狩國空知郡歌志内村ビラシケオマナイ原野四万五千二十四坪ノ拂下代デアリマシテ、ソレヲ北海道國有未開地處分法第六條ヲ適用シテ、鑛業用地トシテ三十九年五月ニ北海道炭鑛鐵道株式會社ニ拂下ゲタノデアリマスガ、是モデス、其拂下ノ方法ガ大ニ誤ツテ居リマシテ、一坪一厘ト云フヤウナ廉イ直段デ拂渡シテアルノデアリマスガ、能ク調べテ見マスレバ此空知川ノ上流ヲ離レタ所ノ場所デアリマシテ、地勢ガ甚ダ良クナイト云フコトデアリマスガ、其價格ハ何ニ依ツタカト云フト、北海道土地拂下規則デ定メテアル千坪一圓ノ標準ニ依ツテ其方法ヲ採ツタト言ヘドモ、其實ハ其拂下地ト云フモノハ歌志内道路及空知川沿岸道路ノ交叉點ノ位置デアリマシテ、其接續地ニ於テ同一ノ目的ヲ以テ三十九年ノ三月マテ同會社ニ貸付ケテアツタノデアリマス、其坪數ハ三万八千餘坪アツタサウデアリマス、其貸下料ハ一坪二厘ナルニ拘ラズ三十年ノ四月廢止サレタ北海道土地拂下規則ノ素地代價ヲ標準トシテ、僅ニ附近ノ土地代價ノ半額ニ相當スルヤウナ低廉ノ金額ヲ以テ拂下ゲタト云フノデアリマス、是モ甚ダ委員會デハ其處置ノ不當ナルコトヲ認メタノデアリマス、ソレカラ今度ハ内務省ニ於キマシテ政府ノ所有ニ係ル廣島市大手町二丁目廣島郵便局用地ト、廣島市長沼某ノ所有ニ係ル同市小町市街宅地ト官有地取扱規則ニ依ツテ交換シタル件デアリマス、是ハ明治三十九年十二月中ニ官有地取扱規則ニ依リマシテ交換ヲシタノデアリマスガ、其事實ハ同年九月ニ長沼某ト交換ノコトヲ照會シマシテ、其所ハ即チ廣島郵便局ノ官舍ヲ建テル爲ニヤルト云フコトニシタノデアリマス、然ルニ其土地ト云フモノハ相當代價ニナツテ居ラヌ、惡ルイ方デアル土地ヲ高ク買取ッタヤウナ次第ニナツテ居ルノデ、此件ハ豫算ニ要求ヲ爲サズシテ斯ク不當ナル土地ノ交換ヲ爲シタト云フコトハ甚ダ其處置ニ於テ不當ナル處置ヲシタト云フコトデアリマシタガ、委員會ニ於テモ此事柄ハ不當ナルコト、認メタノデアリマス、其次ハ歲出經常部ノ海軍省所管ノ第二款軍事費ノ第三項ノ修繕費ニ關シタコトデ、是ハ横須賀海軍經理

部ノ支出ニ係ル件デアリマス、此金額ハ即チ二千四百十九圓八十錢クラキノモノデアリマスガ、是ハ明治四十年三月ニ横須賀海軍工廠造兵部鑄造工場ガ燒ケマシタ爲ニ、後ニ修復ヲスルト云フ費用ニ充テル爲ニ豫算ニ支出ヲ求メタ譯デアリマスルガ、段々其工事ノ様子ヲ見レバ、ドウモ殆ド古材木ヲ使用シテ決シテ新シイ物デ丈夫ニ造ツタ譯デ無ク、タゞ一時、間ニ合セタ建物ヲ爲シタト云フコトガ分ッタカラシテ能ク取調ベテ見タ所ガ此建築ノ全部既ニ其材木ヲ以テ出來タノデアリマスカラ其方ニ使ツタ、併ナガラマダ後ニ残ツテル物ガアリマシテ、未著手ノ工事ニ於テハマダ金デ殘シテアツテ其方ニ拂ツテ無イノデアルカラ不當ノ支出ヲシタ譯デナイト云フ譯デアルノデアリマスガ、併シ此建築ト云フモノ、工事ノ全部ニ要スル見積代價ヲ海軍工廠ニ拂切ツテ仕舞ウテアリマスカラ、マダ皆出來タノデハナイ、是カラ後ニ立替ヘテ居ル其物ノ代價ノ方ニハ其金ハ使ハヌト雖モ併シ既ニ金ガ全部拂ツテアルトスレバ、サウ云フ譯ニ認ムルコトハ出來ナイカラシテ工事ノ竣工ト云フコトヲ裝ウテ金員ヲ先キニ拂ツタモノデアラウ、故ニ此支出ハ甚ダ不當ナコトデアルト云フ會計検査院ノ報告ヲ讀ンデ見マスレバ、事實ニ於テ或ハサウ云フコトデアラウガ、兎モ角モ其支出ノ方法ヲ誤ツタモノデアラウ、其仕方ニ於テハ穩當ヲ缺イタル處置デアルカラ、委員會ニ於テハ矢張リ此處置ハ不當ナル處置ト認メタノデアリマス、デ明治三十九年ノ歲入歲出總決算ハ右様ナコトデアリマシテ、此總テガ不當ナルコトニモアリマスシ、或ハ其中デ不穩當ト見テ議決ニナツタノモアリマス、併シ大體ニ於キマシテ政府ノ監督其宜シキヲ得ナイカラスウ云フコトガ起ルノデアル、政府ニ於テモ今後ハ斯ノ如キ失態ノ無イヤウニ十分ニ注意アラムコトヲ偏ニ希望スルノデアリマス、是ニテ三十九年度ノ決算ノ審查ニ付イテノ御報告ハ終リマシタ、次ハ臨時軍事費歲入歲出決算ニ付イテ御報告ヲ致シマス、臨時軍事費第一款ノ臨時軍事費第一項臨時軍事費、陸軍省所管ノ陸軍會計監督部ノ支出ニ關スル件デゴザイマス、其一ハ東京砲兵廠、瀧ノ川雷汞場ノ敷地三万四千百三十八坪ヲ買ツタ其代價及其所ヘ新營移轉工事ヲ爲シタ事柄デアリマスガ、是ハ即チ此臨時軍事費ヨリシテ支辨スベキモノデナインデアラウ、何トナレバ其本件ノ敷地買收ノ決定シタルコトハ既ニ明治三十八年九月二十九日デ、建築工事ヲ認可シタノガ同年十ニ月二日デアレバ既ニ其頃ハ戰爭ヲ終ツタ後ノ話デアル、故ニ此事ハ決シテ臨時軍事費ヲ以テスル事柄デナイ、然ルニ其臨時費ヲ以テ爲シタノハ豫算ノ

目的ニ反シタル行爲ヲ爲シタノデ會計法ノ第十二條ニ背反シタルモノニアル、委員會ニ於テハ此事ハ甚ダ不都合ナコトデアラウト云フコトデ不當ノ處置ヲ爲シタト云フコトヲ認メマシタノデアリマス、モウ一つハ旅順電燈工事ノ豫定費額二十四万八千四百六十七圓六十八錢ノ内デ十七万九千五百五十三圓八十一錢ハ明治三十九年法律第五十二號デ一般會計ニ移サレタモノニアル、此工事ハ旅順ノ方ノ露國時代カラアツテ要塞ノ方デ使用シ所ニ修理ヲ加ヘテ使用スルコトニ致シタ件デアリマスルガ、然ルニ其所ヲ調べテ見レバ中央ノ發電所ニ於テノ機械等据附又電線架設工事ノ一部ヲ除クノ外ハ豫定ノ工事ハ竣工シテ居ルノデアリマス、然ルニ本工事ノ費用ハ臨時軍事費ノ豫算ニ包含セルモノト政府ハ認メテヤツテ居ルノデアリマスルケレドモ、其事業ハ既ニ旅順ニ於キマシテ諸官衛ノ兵營ノ増加ニ伴フモノハ其始メノ設備ノ非ナルヲ非トシテ使ツタ譯デ、臨時軍事費ヨリ支辨セルハ即チ戰爭後其前カラ引續イテヤツタモノダカラ、即チ臨時軍事費デ拂ツタモノデアルト云フコトデアリマスルケレドモ、併ナガラ元ノ目的トスル所ハ官衛軍隊ノタメ使用ヲ目的トスルハ第一ノ目的デアリマスガ、將來一般市民ノ需要ニ應ズル爲ニ設ケタ姿デアリマスカラ、是等ハ民政部ノ管理ニ移ツテ仕舞ツテ地方費ノ事業トシテ之ガ經營ヲシタノデアリマス、事實ハ其通りデアリマシテナル、事情ニ於テハ幾ラカ酌量スベキコトモアリマセウケレドモ、併シ大體ニ於キマシテハ會計法ニ違反シタル仕方デアル、ト云フコトハ不當ナモノデタ、是モ會計法第十二條ニ違犯シタルモノデアルト云フコトデ如何ニモ不當ナル、事務ニ於テハ幾ラカ酌量スベキコトモアリマセウケレドモ、併シ大體ニ於キマシテハ會計法ニ違反シタル仕方デアル、ト云フコトハ不當ナモノデアルト云フコトヲ見タノデアリマス、モウ一つハ東京砲兵廠銃包製造所、壓延場ノ二棟ト實包材料庫一棟、鍛工場一棟、正門一箇所新築、ソレカラ板橋王子間ノ電氣鐵道線路工事ニ要シタモノデアリマスガ、是等ハ始メニ設計シタ目論見ヨリハ非常ニ品物ヲ餘計使ツテ居ルト云フコトヲ發見サレタノデアリマス、之ヲ政府ノ方ニ問ヒマスルト、即チ日露戰爭ノ間際デモアリ、間デモアルカラ至急ヲ要スル爲ニ設計ノ豫算ノ價格ヨリハ總テノモノガ、サウ云フ工合ニ急イデヤレバ高クモナルシ、又品物ヲ一時ニ買フト云フコトニナレバ、ナカツカ豫算ヲ以テヤツテ居ツタナラバ間ニ合ハヌカラ總テ增加シテヤツタト云フノデアルノデ、併シ其見積落チ又ハ見積不足ト云フモノハ設計ノ圖面ニ掲ゲテアル所ヲ見レバ其答辯ト云フモノハ確カナルモノト認メ難イ理

由ヲ見出スノデアリマス、故ニ此事モ工事ノ實施ト云フコトニ當ツテ確カナル仕譯書ノ調製ト云フモノヲ缺キ、又材料價格ノ算定ガ正確ナル方法ヲ以テ爲シタモノデナイト云フコトデ甚ダ其處置ニ於テハ不當ナル處置ト認メタノデアリマス、其次ハ關東都督府ノ支出ニ係ル件、是ハ大連病院ニ充用スル目的ヲ以チマシテ近藤某ノ所有シテ居ル私立病院ガアリマス、其本館ガ二階建坪四十六坪餘、病室平家建五十八坪餘、其他附屬舍等ヲ買收シタ事件デアリマスガ、是ハ病院ニ用キル爲ニ買ツタト云フノデアリマスケレドモ、實際ハレドモ、斯ノ如キ粗末ナモノヲ高イ直段ニ買ハネバナラスト云フ必要モ見出サヌト考ヘル、又他ニ何カ方法ヲ執ツタナラバ出來タカ知レス、故ニ此買ツタコトハ經濟上ニ甚シク不利益ヲ來タシタノデ、不適當ナル家屋ヲ買收シテ國庫ニ不利ヲ與ヘタモノデアリマス、此處置モ甚ダ不當ナル仕方ト委員會ニ於テ認メタノデアリマス、其次ハ海軍省所管デ海軍煉炭製造所及吳海軍經理部ノ支出ニ係ル件デアリマス、是ハ吳海軍ノ方デ煉炭製造所煉結工場其他增築並ニ機械等ヲ据附ケル工事費ト云フモノニ致シタト云フコトデアリマスガ、是ハ其建物ヲ造ツタノハ既ニ戰爭ヲ終ッタ後デアリマシテ、殊ニ此數條ノ經費ト云フモノハ既ニ三十九年ノ一月ヨリ之ヲ經常費ノ支辨ニ移サレタモノデアリマスカラ、今此所デ軍事費デ拂フト云フコトハ甚ダ宜シクナイト云フノデアリマス、此事柄ハ英炭ヲ買ウテ澤山ニ積上ゲテアル之ヲ運搬シタ所デ粉ガ澤山殘ル、其粉ヲ其儘ニ置クノハ甚ダ經濟上宜クナイカラシテ、此粉ヲ集メテ一つノ炭團ミタヤウナモノヲ作ル、サウシテスレバ再ビ之ヲ用キルコトガ出来ルコトニナルカラ、ソレヲ作ル建物ノコトヲ言フノデアリマス、然ルニ前ニ申シマス通リ既ニ一般會計ノ方ニ移シテアレバ普通費ノ方カラ支辨セネバナラヌノヲ今之ヲ軍事費カラ之ヲ支辨シタト云フコトハ甚ダ其處置ハ穩當デナイ、既ニ本法豫算ノ目的ニ反シタル行爲ヲ爲シタルモノデアルカラ、委員會ニ於テモ穩當ナル處置デナイト云フコトヲ認メタノデ、其次ハ佐世保海軍經理部ノ支出ニ係ル件ニ關シテ申シマスレバ、佐世保鎮守府工廠構内ノ交通機關ノ設備ニ要スル豫定費額五万八千圓ノ内四万八千四百五十八圓六十四錢

六厘ハ明治三十九年ノ法律第五十二號ニ依リマシテ一般會計ニ移サレタモノデアリマス、此工事ハ戰爭當時ハ邸内モ廣イカラシテ一般ノ便利ヲ圖ル爲ニ

輕便鐵道ヲ架ケタンデアリマス、交通機關ノ爲ニ致シタ譯デアリマスルガ、此目的ハ此工廠構内ノ區域ガ廣イカラシテ總テノ便利ヲ圖ル爲ニ職工ノ往復ニモ又材料、材木ヲ運搬スルコトヤ其他工事ノ便利ノ爲ニ設ケタンデアリマスルガ、モト其事デ爲シタカラシテ其當時ハ如何ニモ戰爭デアツンデアリマセウケレドモ、其後ニ其線路ヲ延長シタンデアリマス、延長シタト云フコトハ既ニモウ平和克復後ナシタ譯デアル、且ツ其經費モ一般會計ノ方ヘ移サレテアル以上ハ、此使ツタ費用ト云フモノハ臨時軍事費ノ經費デ爲スペキモノデハナイ、即チ一般會計ノ方ニ移ツタ以上ハ其方デ支辨セネバナラヌノヲ、ソレヲセズシテ軍事費デ支辨シタト云フコトハ、是ハ矢張リ一般豫算ノ目的ニ反シタル行爲ヲ爲シ會計法ノ第十二條ニ違反シタルモノデアツテ、甚ダ其處置ノ穩當ナラザルモノト委員會デハ認メタンドアリマス、ソレデ臨時軍事費歲入歲出總決算ノ概略ハ右様ノ譯デアリマシテ、總テ不當又ハ穩當ヲ缺クモノデアルト云フ意味ヲ以チマシテ唯今申述ベタ所ノ事ハ委員會ノ議決ニナツタシニシ又豫算外ニ用ウベカラザルコトヲ唯内ウラデアルカラト云ウンデアリマス、終ニ臨ミマシテ願ハクハ政府ハ毎年決算ニ於キマシテモ斯ノ如キコトト云フ誹ヲ免レヌ譯デアリマスカラシテ、願ハクハドウゾ將來宜シク監督ヲ十分ニシテアリマス、終ニ臨ミマシテ願ハクハ政府ハ毎年決算ニ於キマシテモ斯ノ如キコトト云フ誹ヲ免レヌ譯デアリマスカラシテ、願ハクハドウゾ將來宜シクテ流用シテヤルト云フコトハ甚ダ其處置ノ宜シクナイノミナラズ監督不行屆ノコトト云フ誹ヲ免レヌ譯デアリマスカラシテ、願ハクハドウゾ將來宜シクスノ如キコトノ無イヤウニ十分御注意アラムコトヲ我ニ切望スル譯デアリマス、先づ決算ノ御報告ハ右様ノコトニ御承知ヲ願ヒマス

○議長(公爵德川家達君) 決算委員長ノ報告ヲ可トセラル、諸君ノ起立ヲ請ヒマス

○議長(公爵德川家達君) 過半數ト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 起立者 多數

○議長(公爵德川家達君) 行事日程第十二、衆議院議員選舉法中改正法律案、衆議院提出、第一讀會  
〔左ノ通牒文及議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ載錄ス以下之ニ徵フ〕

衆議院議員選舉法中改正法律案  
右本院提出案及送付候也

明治四十二年三月二十二日

衆議院議長 長谷場 純孝

貴族院議長公爵徳川家達殿

標準數トス

五 前號ノ分配標準數ヲ以テ各所屬ノ有效投票數ヲ除シ其ノ商（端數ハ廢棄）ヲ各所屬ノ選出スヘキ議員數トス

衆議院議員選舉法中左ノ通改正ス  
第二十八條ノ二 選舉人ハ選舉期日ヨリ少クトモ十四日前迄ニ五十人以上ノ連署ヲ以テ議員候補者ヲ推薦シ之ヲ選舉長ニ届出ツルコトヲ得但シ政黨ハ其ノ名ヲ以テ本條ノ届出ヲ爲スコトヲ得

選舉長前項ノ届出ヲ受ケタルトキハ其ノ議員候補者ノ氏名ヲ郡役所町村役場ニ告示セシメ且其ノ氏名ヲ各所屬別ニ依リ投票用紙ニ印刷セシムヘシ

第二十八條ノ三 選舉ノ期日七日前ニ至リ議員候補者ノ數其ノ選舉區議員ノ定員ヲ超エサルトキハ選舉長ハ選舉ノ手續ヲ省略スヘシ  
第三十六條第一項ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ

議員ノ定數二名以上ノ選舉區ニ於テハ列記セル議員候補者中其ノ特ニ選舉セムトスル議員候補者氏名ノ上ニ「○」ノ記號ヲ附シテ投函スヘシ但シ選舉人ハ議員候補者ヲ記入セサル投票用紙ニ自ラ記入シテ投函スルコトヲ得

第四十五條 削除

第五十八條第二項ヲ左ノ如ク改ム

議員候補者ニ非サル者ヲ被選舉人トシテ記載シタルモノ  
第六十四條ノ二 選舉長ハ左ノ方法ニ依リ投票ヲ計算スヘシ

一 投票中所屬別（或ハ黨派別）ノ明カナルモノハ所屬別ニ依リ整理ス  
二 所屬別ノ混淆シタル投票ハ第一番ニ記載セラレタル議員候補者氏名ノ所屬ニ依ル

第二番以下ニ記載セラレタル議員候補者氏名ノ得票ハ各其ノ所屬ニ算入ス

三 前號整理ノ後選舉長ハ先ツ分配標準數ヲ定メ引續キ各所屬ノ選出議員數ヲ定ムヘシ但シ其ノ分配標準數ヲ定ムルハ次號ノ例ニ依ル

四 各所屬ノ有效投票數ヲ（一）（二）（三）等ノ數字ニ依リテ除シ其ノ商ヲ各所屬ヲ通シテ多數順ニ序列シ議員定數ト同番ニ當リタル數ヲ分配

第七十條第一項中但書ヲ削リ次ニ左ノ二項ヲ加フ

連名投票ノ場合ニ於テハ第六十四條ノ二第五號各所屬議員候補者中最多

數得票者ヨリ順次其ノ議員定數ニ至ル迄ノ得票者ヲ以テ當選人トス

第二十八條ノ三ノ場合ニ於テハ其ノ議員候補者ヲ以テ當選人トス

同條第二項中「前項ノ」及「前項ノ得票者ニシテ」ヲ削リ左ノ但書ヲ加フ

但シ議員ノ定數二名以上ノ選舉區ニ於テハ所屬別議員候補者中ヨリ之ヲ補充ス

附則

本法ハ次ノ總選舉ヨリ之ヲ施行ス

○議長（公爵徳川家達君）是ハ前ノ衆議院議員選舉法中改正法律案ノ委員ニ付託シテ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」と呼フ者アリ〕

○議長（公爵徳川家達君）御異議ナイト認メマス、此際報告ヲ致シマス

〔東久世書記官朗讀〕

辯護士ノ職務並判官評定官檢察官及辯護士ノ在職年限ニ關スル法律案右案ニ付本院ハ貴院ノ修正ニ同意セサルコトニ決議セリ因テ議院法第五十五條ニ依リ兩院協議會ヲ開クコトヲ請求候也

明治四十二年三月二十四日

衆議院議長 長谷場 純孝

貴族院議長公爵徳川家達殿

本院ハ辯護士ノ職務並判官評定官檢察官及辯護士ノ在職年限ニ關スル法律案

協議員ノ數ヲ十名ト爲スニ決セリ此段及通知候也

明治四十二年三月二十四日

衆議院議長 長谷場 純孝

貴族院議長公爵徳川家達殿

○議長（公爵徳川家達君）唯今書記官ヲシテ報告イタサセマシタ通リ衆議院ヨリ辯護士ノ職務並判官評定官檢察官及辯護士ノ在職年限ニ關スル法律案ノ

協議會ヲ求メラレマシタ、求メラレマシタ以上ハ本院ニ於テ協議委員ヲ直チニ選定ヲスル必要ヲ生ジマシタ、協議員ノ數八十名ト云フコトデアリマス

○田中芳男君 此協議委員ハ議長ニ於テ選定アラムコトヲ望ミマス

「賛成」ト呼フ者アリ

○議長(公爵德川家達君) 田中君ノ協議委員ヲ議長ニ於テ選定ヲ致スト云フ 動議ニ賛成ガゴザイマス、右ニ對シテ御異存ゴザイマセヌカ

「異議ナシ」ト呼フ者アリ

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス、直チニ協議委員ノ氏名ヲ書記官長ヲシテ朗讀ヲ致サセマス

〔太田書記官長朗讀〕

辯護士ノ職務竝判官評定官檢察官及辯護士ノ在職年限ニ關スル法律案兩院

協議委員

伯爵德川 達孝君	子爵入江 爲守君	男爵松平 正直君
男爵北畠 治房君	平山 成信君	男爵關 義臣君
男爵波多野 敬直君	石渡 敏一君	馬屋原二郎君
兒玉淳一郎君		

○議長(公爵德川家達君) 協議會ノ都合モゴザイマスシ、本院ヨリ衆議院ヘ回付イタシテ居ル案モアリマスシ、又特別委員會ノ審査報告期限ヲ先刻議決ニモ相成リマシタカラ、此際休憩ヲ致シマス、念ノタメ諸君ニ申上ダマスガ、本日ハ本議會ノ最終日デゴザイマスカラ、御退院ノ無イヤウニ諸君ニ於テ御注意ヲ願ヒマス

午前十一時五十八分休憩

○議長(公爵德川家達君) 是ヨリ報告ヲ致シマス

〔宮田書記官朗讀〕

午後二時三十四分開會

本院ニ於テ修正議決シタル衆議院提出遠洋漁業獎勵法中改正法律案ハ直ニ之ヲ衆議院ニ回付セリ

辯護士ノ職務竝判官評定官檢察官及辯護士ノ在職年限ニ關スル法律案兩院

協議委員正副議長互選ノ結果左ノ通常選セリ

議長 伯爵德川 達孝君

副議長

男爵波多野 敬直君

各特別委員會ニ於テ當選シタル正副委員長ノ氏名左ノ如シ

裁判所構成法中改正法律案特別委員會

委員長 子爵黒田 和志君

副委員長 男爵波多野 敬直君

蠶病豫防法中改正法律案特別委員會

委員長 子爵本莊 壽巨君

副委員長 奥山 政敬君

民事訴訟法中改正法律案特別委員會

委員長 松岡 康毅君

副委員長 富井 政章君

行政裁判再審ニ關スル法律案特別委員會

委員長 ヨリ左ノ報告書ヲ提出セリ

民事訴訟法中改正法律案否決報告書

兩院協議委員議長ヨリ辯護士ノ職務竝判官評定官檢察官及辯護士ノ在職年限ニ關スル法律案兩院協議會成案成立報告書ヲ提出セリ

商業會議所法中改正法律案否決報告書

○議長(公爵德川家達君) 是ヨリ午後ノ會議ヲ開キマス、午前ニ報告ノ期限ヲ定メラレマシタ商業會議所法中改正法律案ノ委員長ヨリ報告ヲ得マシタカラ議事日程ヲ變更イタシマシテ此際、此法案ノ第一讀會ノ續ヲ開イテ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマスカラ商業會議所法中改正法律案第一讀會ノ續ヲ開キマス、委員長報告、德川男爵

✓ 商業會議所法中改正法律案

右否決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

明治四十二年三月二十四日

右特別委員長

男爵 德川

厚

〔男爵德川厚君演壇ニ登ル〕

貴族院議長公爵德川家達殿

○男爵德川厚君 唯今議題ニ上ボリマシタル商業會議所法中改正法律案、此委員會ノ經過及結果ヲ簡單ニ御報告イタシマス、實ハ此會ハ昨日一回開キマ

シテ其節ハ質問ダケニ止メテ置キマシテ、今朝再び開會イタシマシテ決定イタシタ譯デアリマス、此案ハ改正ノ文字ハ最モ簡單ナモノデアリマシテ、即チ

右否決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也  
明治四十二年三月二十三日

商業會議所法中第三十三條ノ一番上ニ書イテアリマス所ノ「經費又ハ」ト云

フ字ヲ削除スルト云フ案デアリマス、委員會ニ於キマシテハ、此案ハ商業會議

所ノ即チ死活問題トモ云フベキ議案デアルカラシテ慎重ニ審議スルノ必要ヲ

認メルト……又政府ノ答辯ニ依リマスト此一部ノ修正ノミデハ全部ノ改善ト

云フコトハ期シ難クシテ尙ホ能ク考慮ヲシタイト云フ話デアリマシテ、結局贊否ノ明言ヲシナカツタノデアリマス、故ニ委員會ニ於キマシテ此短キ時期ニ於テ之ヲ決定スルト云フコトハ如何デアルカト云フ懸念カラシテ、之ヲ延期スルト云フ意味ニ於テ全會一致ヲ以テ委員會ニ於テハ否決スルト云フコトニ決定相成リマシタ、此段御報告イタシマス、尙又御質問等ガゴザイマシタナラバ政府委員ニ御質問ヲ願ヒマス

○伯爵廣澤金次郎君 唯今委員長ノ御報告ニ依リマスルト、政府委員ノ出席ヲ煩ハシタケレドモ政府委員ハ贊否ノ點ハ要領ヲ得タル答辯ハ無カツタト云フコトデアリマスルガ、本問題即チ此商業會議所法中改正案ニ於テハ種々ノ評ヲ私ハ耳ニシテ居ルノデアリマス、又斯ノ如キ案ハ商業會議所ノ存立ニ對シテハ大切ナ問題ダラウト考ヘマス、付キマシテハドウゾ政府委員、成ルベクナラバ農商務大臣ノ御出席ヲ煩ハシテ政府ノ所見ヲ伺ヒタイト考ヘマス

○議長(公爵德川家達君) 廣澤伯爵ニ確スマスガ、農商務大臣ノ出席ヲ求メラレルノデアリマスカ

○伯爵廣澤金次郎君 左様デアリマス

○議長(公爵德川家達君) 農商務大臣ガマダ見エラレマセヌカラ暫ク此問題ハアト回シニ致シタラ如何デゴザイマスカ

○伯爵廣澤金次郎君 サウ云フコトニ願ヒマス  
〔異議ナシ」と呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 議事日程第十四、會計法中改正法律案、衆議院提出、第一讀會ノ續、委員長報告

會計法中改正法律案

貴族院議長公爵德川家達殿

右特別委員長  
伯爵 松木 宗隆

〔伯爵松木宗隆君演壇ニ登ル〕

○伯爵松木宗隆君 御報告ヲ申上ゲマス、此會計法中改正法律案ハ年々衆議院ヨリ送付セラレマシテ、又年々本院ニ於テ否決セラレタコトデゴザイマス、委員會ニ於キマシテハ熟議審査ヲ盡シタノデアリマスルガ、是亦遂ニ否決ニ相成リマシタコトデゴザイマス、依ツテ其大要ヲ御報告申上ゲタイト存ジマス、御覽ノ通リ此改正案ハ第八條ニ對スル修正ト第十二條ニ於テ一項ヲ加ヘムトスルノデアリマシテ、第八條ノ改正ノ趣意ト致シマスル所ハ、現行法ノ如ク豫備金支出ノ事後承諾ヲ年度経過後ノ期間ニ於テスルト云フコトハ時間ノ経過ガ長イ爲ニハ當局者ノ責任ヲ薄ラゲルヤウナ憂ヲ生ズルノデアリマスルシ、又ハ議會ノ監督ガ十分行ハレナイヤウナコトヲ來タスノデアリマスルカラシテ、成ルベク早キ機會ニ於テ承諾ヲ求ムルヤウニシタイト云フノ趣意デ此改正案ガ提出サレタノデアリマス、而シテ政府ハ此要求ニ應ジ、サウシテ同意ヲ表サレタノデアリマス、併ナガラ其同意サレマシタ點ハ此文字ノ通りニ其年度内ニ於ケル議會召集ノ日マデノ總テノコトヲ擧シテ提出スルト云フ譯ニハ到底出來ナイコトデアリマスルカラ、出來得ル限リニ於テ近イモノヲ出スト云フコトデ同意シタト云フコトデアリマシタ、先づ確カナ所ハ其年度内ニ於テノ上半期グラキノ所ハ提出スルト云フコトハ確カデアルガ、尙ホアトノ所ハ努メテ出ス積リデアルト云フコトデアリマシタ、謂ハマ條件附デ同意サレタコトデアリマス、依ツテ假ニ是ガ施行セラル、コトニナリマシタナラバ自今ハ承諾案件ニ付イテハ前年度ノ後半期分ト現在年度ノ前半期分ト、即チ半期半期分ト合セラレタルモノ、一年度ガ將來承諾案件トシテ提出セラル、勘定ニナルノデゴザイマス、依ツテ此第八條ノ改正ニ付キマシテハ委員會ニ於キマシテモ政府ノ同意シタ點ニ於キマシテモ異議ハ無カツタノデゴザイマス、併シ第十二條ニ至リマシテ此改正ノ意ハ是マデ政府ガ國庫剩餘金ヲ恰モ第三豫備金ノ如クニ自由ニ使用スルニ依ツテ、全然之ヲ禁止セムトスルノ趣意デ此十二條ニ一項ヲ加ヘムトスルノコトデアリマスカラ、政府ハ之ニ對シ

テ國務ノ運用上責任ノ支出ハ已ムヲ得ザルコトデアルト云フコトヲ主張セラ  
レマシテ、サウシテ此十二條ニ向ツテハ全然反對ヲ唱ヘラレタノデアリマス、且又  
依ツテ委員會ニ於キマシテハ最モ此點ニ付イテ審議ヲ盡シタノデアリマスル  
ガ、何シロ六億ニ近イ歲計ヲ有ツテサウシテ豫備金ハ僅カ三百万圓ニ過ギナイ  
ノデアリマスルカラ、其年度ヲ越スニ於テ豫算超過及豫算外ノ支出ヲ剩餘金  
ニ求ムルト云フコトハ事實已ムヲ得ナイコトデアリマシテ、且ツ昨日モ當議  
場デ四十年度ノ承諾ノ件ニ付キマシテ、委員會ヨリノ希望ヲ委員長ヨリ傳ヘ  
ラレマシテ、即チ將來豫備費ヲ增加シテ吳レト云フヤウナ希望ニ承ッタコトデ  
アリマス、斯様ナ次第デアリマスルカラ、此豫備費ヲ增加スルニアラズンバ、  
國家歲計ノ完全ヲ期シ難イト云フコトハ今日當面ノ問題ニナツテ居ルノデア  
リマスルカラシテ、今直チニ進ンデ剩餘金其モノニ就イテ之ヲ論ジ、之ヲ責メ  
之ヲ禁ズルト云フヤウナコトハ、ドウモ實際ニ遠ザカルノ嫌ヒガアルノデア  
リマスルシ、且ツ審議ノ際ニ於キマシテ、政府委員ハ向後此豫備費增加ノコト  
ニ付イテハ十分ト方法ヲ講ズル積リデアルシ、同時ニ剩餘金ノコトニ付イテ  
モ一層慎重ナ方針ヲ執ルト云フコトヲ切ニ言ハレタノデアリマスルカラ、委  
員會ハ先ツ此邊ノ所デ此問題ヲ解決スル方ガ穩當デハナイカト云フコトニ一  
致セラレマシテ、ソレ故ニ進ンデ此十二條ニハ一人モ賛成ヲ表スル人ハ無カッ  
タノデゴザイマス、而シテ採決ノ結果ハ本案ハ全會一致ヲ以テ否決ニナリマ  
シタコトデゴザイマス、此段御報告申上ゲマス

○議長(公爵德川家達君) 採決イタシマス、本案ノ二讀會ヲ開クベシトスル  
諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 無シ

○議長(公爵德川家達君) 起立者一人モゴザイマセヌ、故ニ本案ハ否決セラ  
レタモノト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 農商務大臣ノ出席ガゴザイマシタカラ前ノ議事ニ  
戻リマス

○伯爵廣澤金次郎君 先キホドノ質問ヲ繰返シテ宜ウゴザイマスカ

○議長(公爵德川家達君) 宜シウゴザイマス

○伯爵廣澤金次郎君 農商務大臣ガ幸ニ御出席ニナリマシタカラ、先キホド  
ノ本員ノ質問ヲモウ一應繰返シテ御答辯ヲ煩ハシタイト考へマス、ソレハ此

商業會議所法中改正法律案ノ改正ハ唯一項ノミノ極ク簡単デアリマスケレド  
モ、此事タルヤ商業會議所ノ存立ニ關スル問題ト考ヘルノデアリマス、且又  
種々ノ此問題ニ就イテ風説ヲ耳ニシテ居ルノデアリマス、然ルニ先キホド委  
員長德川男爵ノ御報告ニ依ルト委員會ニ於テハ政府ハ本案ハ他ノ條項ト同時  
ニ商業會議所法中ニ改正ヲ要スル所多々アルニ依リ、少シ考ヘタラ宣カラ  
ウト云フ御答辯デアツタ、而シテ遂ニ贊否何レナルカラ政府委員ヨリ答辯ヲ  
得ルコトガ出來ナカツタト云フコトデアリマス、前ニ申シタヤウナ理由ヲ以  
テ本案ハ至ツテ簡單ナ何デモ無イヤウナ案デアリマスルガ、併シ事甚ダ重大  
ナ案ト思ヒマスニ依ツテハ、本員等ガ可否ヲ決スル前ニ一應農商務大臣ノ本  
案ニ對スル意見ヲ承リタイト考ヘルノデアリマス

〔國務大臣男爵大浦兼武君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(男爵大浦兼武君) 唯今、廣澤伯ノ御質問デゴザイマスガ、此問題  
ハ唯今廣澤伯ノ御話ノ通り、極ク簡單ナ問題デ此クラキムツカシイ議論ノアッ  
タ問題ハ外ニハアルマイト思ヒマス、衆議院ニ於テモ餘ホドムヅカシイ議論  
ガゴザイマシテ、サウシテ今日此問題ニナツタノデゴザイマス、前キニ政府  
委員ヨリ答辯イタシマシタ通り、委員會等ニ於テハ矢張リ商業會議所ノ一體  
ノ法律、其他改善ヲ要スル見込ガゴザイマシテ、折角研究中ニアル所ニ、圖  
ラズ此問題ガ出たノデゴザイマス、ソコデ今日此問題ニ於テハ、獨リ今ノ問  
題ノミナラズ、前キニ申ス通リ種々改正ヲ要シタイト云フコトモゴザイマス  
カラシテ、此問題ハ即チ私ノ精神ハ今申上ゲタ通リ種々ノ改正ヲ要シタイン  
デアルケレドモ、結局衆議院ヲ通過シテ、今日問題ニナツテ居ル場合デゴザ  
イマスカラ、此上ハ輿論ニ從フ、斯ウ云フ積リデゴザイマス、左様御承知ヲ  
願ヒマス

○伯爵廣澤金次郎君 モウ一遍重ねテ質問スルノハ甚ダ私ハ忍ビ難イ所デア  
リマスケレドモ、今ノ當局大臣ノ御説明ニ依リマスト、政府ハドウナツテモ  
宜シイ、輿論ニ從フト云フコトデアリマスガ、私ハ此問題ハ今大臣モ演壇ニ  
於テ申サレタ如ク、簡單デアツテ非常ナ問題デアルト申サレル以上ハ、何レ  
カノ說ヲ承リタイト考ヘマス、ソレハドウシテモ仰シヤラヌト云フコトデア  
レバ已ムヲ得スコトデアリマス、非常ナ重要な問題ト認メラレテ居ル以上ハ、  
其贊否ダケ、或ハ衆議院ノ提出ニ同意サル、カ反對サル、カ、此點ダケ一應  
承ツテ置キタイノデアリマス、私ドモハ政府ノ見ル所ニ從ヒタイト考ヘルノ

デアリマス

〔國務大臣男爵大浦兼武君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(男爵大浦兼武君) ドウゾ諸君ノ信ズル所ニ於テ御決行ヲ望ミマス

○議長(公爵徳川家達君) 是ヨリ通告順ニ依リマシテ登壇ヲ促シマス、木村誓太郎君

〔木村誓太郎君演壇ニ登ル〕

○木村誓太郎君 私ハ本案ノ二讀會ヲ開カザルコトヲ望ム一人デゴザイマス、元來私ノ資格ト致シマシテハ、モト農ヲ尊ブ方デアリマシテ、商業ヨリハ農ヲ尊ブ私ハ性質ノ者デゴザリマス、併ナガラ國家ト云フモノ、上カラ眺メテ見マシタナラバ、農一點ニ偏スルコトハ出來マスマイ、矢張リ商業ハ商業ダケノ機關ガ無クテハナリマセヌ、農業ニ於キマシテモ農會ナルモノガアリマシテ之ニ國家ガ補助マデモ致シテ居ルノデアリマスル、商業ニ於キマシルニ本案ナルモノハ僅ニ四字ヲ削除スルノ案デゴザリマスルケレドモ、是コソ致命傷ノ修正デアリマシテ、若シ此四字ガ無カツタナラバ、此商業會議所ト云フモノ、成立ハ近モ繼續スルト云フコトハ出來ナイモノト信ジテ居リマス、若シモ之ヲ今日ノ組織ガ惡ルイトシテ會員組織ニスルト云フヤウナコトナラバ、其案ガ出テ其案ニ就イテ利害得失ヲ議スルガ宜シイ、今日ノ組織ノ儘デ此四字ヲ抜クト云フノハ決シテ相當ノ改正ト我ミハ見ルコトガ出來マセヌノデアリマス、取リモ直サズ此四字ヲ削リマシタナラバ商業會議所法ト云フモノヲ廢スルト同一ノ結果ニナルニ相違ナインデアリマス、ソレ位ノ案デアリマスルカラ、唯今モ農商務大臣ハ委員會ニ於キマシテモ、亦此場合ニ於キマシテモ、何レトモ可否ヲ判断スルコトガ出來ナイ位ノ案デハゴザイマセヌキニ木村君ガ言ハレマシタノニ此「經費」ノ二字ヲ削ッテ仕舞ツタラ商業會議所ト云フモノハ成リ立タヌ、此修正ハ商業會議所ノ死活ニ關スルト言ハレマシタガ、決シテサウ云フコトハナイ、ドウモ此經費ガ出セヌカラト云ツテ滯納處分マデスルノハ餘リエライ、身代限リマデスルノデアリマスカラ、若シ此經費ガ取レナイ爲ニ商業會議所ノ維持ガ出來ヌト云フナラバ、他ノ團體ハドウシテ出來ルノデアリマセウカ、赤十字社ト云フモノモアリ、愛國婦人會ト云フモノモアリ、農會ト云フモノモアリ、水產會ト云フモノモアルガ、シレ等ハ皆成立タナイ譯デアル、決シテサウ云フコトハナイト思ヒマスカラ、ヒマス、又酷ニ過ギルト考ヘマス、元來此商業會議所法ナルモノハ決シテ強制的ニ何レノ商業地ニモ開カナケレバナラスト強制シタ法律デハナイノデアリマス、隨意ニ其商業地ニ於テ相集マツテ組織スルコトガ出來ルト云フダケノ法律デアリマシテ、決シテ之ヲ強制シタモノデハナイ、之ヲ組織シヤウト組織シマイト隨意デアル、又既ニ今日組織シテ居ツテモ、商業地ニ於テ不必

要ト見タトキニハ何時デモ廢棄スルコトガ出來ルノデアリマス、併シ既ニ之ヲ組織シマシタ以上ハ、此四字ガ無クテハ決シテ成立スルコトハ出來ナイノデアリマス、故ニ私ハ今日此切迫ノ場合ニ於テ長クハ辯ジマセヌガ、此理由ヲ以テ本案ハ否決ニナラムコトヲ望ミマス

○江木千之君 チヨット此席ヨリ一言イタシタイト考ヘマス、本員ハ衆議院ノ提案ニ全然同意ヲ表スル者デアリマス、衆議院ノ提案ハ實ニ今日ノ時宜ニ適シタルモノト本員ハ考ヘマス、唯今木村君ヨリ此數字ヲ削ルトキハ商業會議所ノ維持ガ出來ナイヤウニナル憂ヒハ無イ、今日マデ縣農會ナリ町村農會ナリト云フモノハ能ク府縣ナリ町村ナリト一致シテ事業ヲヤツテ居リマスルガ、商業會議所法モ此改正ヲ致シマシタナラバ、今後府縣或ハ市等ノ補助ヲ受ケルヤウニナリマシテ、自然、縣、市ナドノ關係モ圓滑ニナツテ參ルト考ヘマス、却ツテ是ハ改良ノ基ニナラウト考ヘマスノデアリマス、ノミナラズ農會等ノ釣合モ誠ニ良クナツテ來ルト考ヘマス、今日會期ノ將ニ盡キムトスル際デアリマスルカラ、申述ベタイコトモアリマスルガ是デ略シテ置キマス、ドウカ本案ハ簡單ナ案デアリマスルカラ讀會ヲ省略シテ可決セラレムコトヲ希望イタシマス

○村田保君 本員ハ唯今ノ江木君ノ說ニ全然贊成ヲ致ス者デゴザイマス、前キニ木村君ガ言ハレマシタノニ此「經費」ノ二字ヲ削ッテ仕舞ツタラ商業會議所ト云フモノハ成リ立タヌ、此修正ハ商業會議所ノ死活ニ關スルト言ハレマシタガ、決シテサウ云フコトハナイ、ドウモ此經費ガ出セヌカラト云ツテ滯納處分マデスルノハ餘リエライ、身代限リマデスルノデアリマスカラ、若シ此經費ガ取レナイ爲ニ商業會議所ノ維持ガ出來ヌト云フナラバ、他ノ團體ハドウシテ出來ルノデアリマセウカ、赤十字社ト云フモノモアリ、愛國婦人會ト云フモノモアリ、農會ト云フモノモアリ、水產會ト云フモノモアルガ、シレ等ハ皆成立タナイ譯デアル、決シテサウ云フコトハナイト思ヒマスカラ、斷然是ハ衆議院デ大多數デ通過シテ居リマスカラ、本院ニ於テモ大多數ヲ以テドウゾ可決ニナルコトヲ希望イタシマス

○伯爵柳原義光君 本員ハ此案ニ反對ヲ表スル者デアリマス、此會期切迫ノ際ニ斯ノ如キ商業會議所ノ存在ニ重大ナル影響ヲ及ボス問題ヲ輕卒ニ議スルト云フコトハ感服シナインデアリマス、ソレ故ニ今急イデスノ如キモノヲ議

了スルニハ當ラスト思ヒマスカラ、十分ニ考慮シテモ差支ナイ、斯ル意味、即チ延期ノ意味ヲ以テ此案ニハ反對ノ意ヲ表シマス

○男爵松平正直君  
本員ハ江木君ノ發議ニ全然同意イタシマス、贊成ヲ致シ

○大谷嘉兵衛君 本員ハ本案ノ否決ヲ望ミマス、簡単デアリマスルデ、チヨト茲デ申述ベマス、本案ハ商業會議所ノ死活問題デアルコトハ唯今御述べニナツマシタ通りデアリマシテ、之ニ依ツテ農商務大臣ノ御説明ニ依リマスル

ト、大ニ是ハ改正ヲシナケレバナラスト云フヤウナ考ヘカラ研究中デアルト  
云フヤウナ御答辯デアツカト存ジマス、故ニ之ニ任ジテ今日行ハレテ居リマス  
スル所ノ商業會議所ノ法ニ依ラズシテ、他ニ良法ガゴザイマスレバ十分研究  
ノ上デ以テ主務大臣カラ之ヲ改善アラムコトヲ望ミマス、デ此場合會期モ会  
日ニ追ッテ居リマスカラ、此所ハ先ヅ以テ延期ヲスルト云フヤウナ意味ヲ以  
テ否決スルコトヲ望ミマス

○橋本雄造君  
シマス  
私ハ唯今柳原伯爵、ソレカラ大谷君、御兩氏ノ説ニ賛成ヲ致

○議長(公爵徳川家達君) 松平男爵ニ確メテ置キマスガ、松平男爵ハ江木君  
・義之二氏大司意、云フコトアツタ、考ヘマソタガ、ノノハ讀會省略ニ書

成ノ意味デアリマシタカ

○男爵松平正直君  
○男爵田健治郎君  
讀會省略マデ賛成デゴザイマス  
讀會省略ニ賛成

○子爵三島彌太郎君  
贊成

○伊澤修二君  
○南郷茂光君  
贊成

○男爵金子有卿君  
○男爵武井守正君  
贊成  
贊成

○子爵曾我祐準君贊成

○伯爵廣澤金次郎君 私モ讀會省略ハ贊成デゴザイマスガ、チヨツト意見ヲ  
〔其他 賛成ト呼フ者アリ〕

述ベテモ宜シウゴザイマスカ  
○議長(公爵徳川家達君) 宜シウゴザイマス  
○伯爵廣澤金次郎君 本案ニ付イテ意見ヲ簡単ニ申述ベタイ、本員ハ政府ノ

〔書記官氏名點呼ヲ行フ〕

○議長（公爵徳川家達君）是ヨリ開票イタシマス

〔書記官投票ヲ計算ス〕

○議長（公爵徳川家達君）記名投票ノ結果ヲ御報告ニ及ビマス、投票總數二百七、白票ヲ投ジタル者、即チ本案ノ第二讀會ヲ開クベシトスル者百二十二、青色票ヲ投ジタル者、即チ第二讀會ヲ開クベカラズトスル者八十五、故ニ本案ハ第二讀會ヲ開クベキモノト決シマシタ

〔參照〕

賛成者氏名

子爵黒田 長成君	侯爵細川 護成君	伯爵萬里小路通房君	男爵武井 守正君	男爵高千穂宣磨君
子爵渡邊 昇君	松岡 康毅君	男爵北垣 國道君	男爵南岩倉 具威君	男爵中村 雄次郎君
子爵曾我 祐準君	子爵平松 時厚君	子爵伏原 宣足君	男爵千秋 季隆君	男爵辻 健介君
子爵堤功 長君	子爵裏松 貞光君	子爵加納 久宣君	男爵浅野 守夫君	男爵藤大路 實信君
子爵山本 實庸君	子爵仙石 政固君	子爵藤井 行徳君	富田 鐵之助君	男爵若王子 文健君
子爵唐橋 在正君	子爵牧野 定穀君	子爵戸田 忠行君	鮫島 武之助君	男爵小原 適君
子爵一柳 末徳君	子爵堀田 正養君	子爵井伊 直安君	阿部 浩君	男爵北太路 實信君
子爵内田 正學君	子爵青山 幸宜君	子爵山口 弘達君	關 清英君	男爵二條 正磨君
子爵大久保 忠順君	子爵牧野 貞寧君	子爵戸田 直柔君	山田 春三君	南郷 茂光君
子爵京極 高徳君	子爵新莊 直陳君	子爵井伊 直雄君	平井 晴二郎君	藤田 四郎君
子爵黒田 和志君	子爵實吉 安純君	子爵藤井 仁尾惟茂君	山田 仁尾惟茂君	富井 政章君
子爵本多 忠敬君	子爵持明院 基哲君	馬屋原 二郎君	平山 靖彦君	一木 喜徳郎君
子爵樋口 誠康君	子爵梅小路 定行君	伊澤 修二君	山本 達雄君	石黒 五十二君
子爵入江 爲守君	子爵有馬 賴之君	清瀬 善三君	下條 正雄君	千頭 清臣君
子爵酒井 忠亮君	子爵永井 尚敏君	市川 文藏君	田島 竹之助君	高木 豊三君
子爵岡内 重俊君	子爵松平 正直君	土居 通博君	細谷 巖太郎君	兒玉 利國君
子爵船越 衛君	長谷部 辰連君		久保市三郎君	河島 醇君
田中 芳男君	村田 保君		森 廣三郎君	加藤 正恵君
男爵伊達 宗敦君	男爵菊池 大麓君			村岡 淩右衛門君
男爵波多野 敬直君	山縣伊三郎君			濱口 吉右衛門君
男爵船枝 雅之君	男爵金子 有卿君			杉下 太郎右衛門君
男爵沖 守 固君	木下 廣次君			
男爵藤枝 雅之君	男爵田 健治郎君			

反對者氏名

公爵二條 基弘君	侯爵大炊御門幾麿君	伯爵大原 重朝君	男爵中村 雄次郎君
子爵樋口 誠康君	伯爵島津 忠亮君	伯爵大村 純雄君	男爵辻 健介君
子爵入江 爲守君	伯爵德川 達孝君	伯爵松木 宗隆君	男爵若王子 文健君
子爵酒井 忠亮君	子爵本莊 宗義君	伯爵廣澤 金次郎君	男爵小原 適君
子爵岡内 重俊君	伯爵寺島 誠一郎君	子爵細川 立興君	男爵四條 俊秀君
子爵船越 衛君	伯爵柳原 義光君	子爵鍋島 直彬君	男爵赤松 則良君
田中 芳男君	子爵板倉 勝達君	子爵稻垣 太祥君	男爵小澤 武雄君
男爵伊達 宗敦君	子爵松平 直平君	子爵松平 容大君	男爵四條 隆平君
男爵波多野 敬直君	子爵辻 新次君	子爵柳澤 保惠君	男爵黑岡 帶刀君
男爵船枝 雅之君	子爵柳原 義光君	子爵川村 鐵太郎君	
男爵沖 守 固君	子爵千家 尊福君	子爵稻垣 太祥君	
男爵藤枝 雅之君	子爵西五辻 文仲君	子爵松平 直德君	
木下 廣次君	木下 廣次君	子爵松平 直德君	
男爵田 健治郎君		子爵細川 立興君	

男爵關 義 臣君	男爵久保田 讓君	男爵本多 副元君
男爵北島 齊孝君	男爵杉溪 言長君	男爵南光利君
男爵新田 忠純君	男爵山內 豊政君	男爵小早川 四郎君
男爵青山 元君	男爵德川 厚君	男爵眞田 幸世君
男爵尙順君	男爵安場 末喜君	男爵伊丹 春雄君
男爵中島 久万吉君	男爵島津 忠欽君	男爵本多 政以君
谷森 真男君	三宅 秀君	中島 永元君
石渡 敏一君	穂積 八束君	木場 貞長君
磯邊 包義君	室田 義文君	古莊 嘉門君
大庭 長九郎君	大谷 嘉兵衛君	宮本 谷藏君
木村 誓太郎君	谷 新助君	橋本 雄造君
岡谷 惣助君	吉野 周太郎君	谷井 勘藏君
絲原 武太郎君	松村 時次君	淺野 長太郎君
本間 千代吉君	加藤 宇兵衛君	辰巳 檜太郎君
澤原 俊雄君	並木 和一君	鳥越 貞敏君
桑田 熊藏君	日高 榮三郎君	下鄉 傳平君
下村辰右衛門君	伊藤 長次郎君	河田與惣左衛門君
保阪 潤治君		
○江木千之君 直チニ二讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス		
〔異議ナシト呼フ者アリ〕		
○男爵松平正直君 賛成		
○議長(公爵德川家達君) 直チニ二讀會ヲ開イテ御異存ゴザイマセヌカ		
○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス		
○議長(公爵德川家達君) 直チニ二讀會ヲ開キマス、原案ヲ可トスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス		
○議長(公爵德川家達君) 直チニ二讀會ヲ開カレムコトヲ希望シマス		
○議長(公爵德川家達君) 直チニ二讀會ヲ開カレムコトヲ希望シマス		
○子爵堤功長君 直チニ二讀會ヲ開カレムコトヲ希望シマス		
〔賛成賛成ト呼フ者アリ〕		

○議長(公爵德川家達君) 議事日程第十五、用惡水井路敷漬地買上ニ關スル法律案、衆議院提出、第一讀會ノ續、委員長報告、江木君用惡水井路敷漬地買上ニ關スル法律案  
右否決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也  
明治四十二年三月二十三日

貴族院議長公爵德川家達殿

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイサウデアリマスカラ……  
ヒマス、諸君如何デス  
〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイサウデアリマスカラ……  
ヒマス、

○江木千之君 用惡水井路敷漬地買上ニ關スル法律案特別委員會ノ顛末ヲ思  
報告イタシマス、此委員會ハ去ル二十二日正副委員長ノ選舉ヲ終リマシテ、  
二十三日ニ續イテ會議ヲ開キマシタ、先づ此案ノ大體ニ就イテ質問ヲ致シマ  
シタ、種々質問が出マシタガ、其質問ニ依ツテ明カニ知ルコトヲ得マシタ、大  
要ヲ申シマスレバ此法律案ハ一般ニ向ツテ施行スルヤウニナツテ居リマスガ  
シタ、所ガ、政府ニ於テハ其邊ニ付イテハ十分ノ調査ハ致シテナイト云フコ  
トデアリマシタ、然ラバ此法律ニ該當スル地方ガドレダケアルカト云フコトヲ、政府委員ニ確メマ  
トス申シマスレバ此法律案ハ一般ニ向ツテ施行スルヤウニナツテ居リマスガ  
シタ、所ガ、政府ニ於テハ其邊ニ付イテハ十分ノ調査ハ致シテナイト云フコ  
トデアリマシタ、然ラバ此法律ニ該當スル地方ガ分ツテ居ルノハ何所デアルカ

ト云フコトヲ尋ねマシタ所ガ、大阪府下ノ一部ニ有ルト云フコトデアリマシタ、其大阪府下ノ一部ニ付イテ細カク質問ヲ致シテ見マスルト、用水路ニシテ作徳米ヲ受ケテ居ルモノガ有ルノデゴザイマスガ、其用水路敷ハ曾テ悪水路敷デアッタノデアリマス、惡水路ヲ廢シテ、サウシテソレヲ不用ニ致シマシタ所ガ、其舊トノ惡水路ニ沿フ所ノ村方ニ於キマシテ、之ヲ取ッテ用水路ニ致シタト云フヤウナモノコトデアリマシテ、是等ノモノハ假令此法律ガ發布ニナリ

マシテモ、此法律ニ該當スルモノデナイ、此法律ニ依ッテ律スルコトハ出來ナ

イト云フヤウナモノコトデアリマス、ソレハ惡水路ニシテ此法律ニ該當スルモノ

モ有ルコトハアリマスガ、ソレハ其敷地ヲ所有シテ居ル者ニ於テハ、斯ノ如

キ法律ニ依ッテ買上グラレルコトハ符合シナイト云フヤウナ實況デアリマス、實際ノ狀況ハ斯様ニナッテ居ルノデアリマス、ソレカラ此潰地ノ處分ト云フコトニ付キマシテ、維新後、數回布達等ヲ出シテ、此處分ヲ致シタノデゴザイマス、今日僅ニ處分漏レノモノガ有ルト云フヤウナ事實ニナッテ居リマス、質問ニ依リマシテ斯ノ如キ實況ヲ明カニスルト云フコトガ出來タノデアリマス、ソレカラ討論ニ移リマシタ所ガ、質問ニ依ッテ明カニシタル所ノ事實デアレバ、今日斯ノ如キ法律ヲ制定スルノ必要ハ認メナイ、加之、此事柄ニ付イテハ政府ハ數回布達等ヲ出シテ處分シテ居ルコトデアルカラシテ、今又改メテ此法律ヲ出シテ處分スルト云フコトニハ及バナイ、若シ此途ヲ開クトキニハ彼ノ原野處分漏レノ如キモノ、其他舊藩時代ノ負債ト云フヤウナコトニ付イテモ、今日新ニ法律ヲ出シテ處分スルト云フ途ヲ開カナクテハナラヌヤウニナルノデアル、甚シキニ至ッテハ法律上、時效ヲ經タルモノモ法律ヲ出シテ更ニ處分スルト云フヤウナコトニナルカモ測ラレスノデアル、右様ナ次第デアルカラシテ、此法律案ハ否決スベキモノデアルト認メマシテ、委員ハ残ラズ出席ノ上、全會一致ヲ以テコレハ否決スベキモノナリト議決ヲ致シタノデアリマス、此段御報告ヲ致シマス

○議長(公爵德川家達君) 起立者ハ一人モゴザイマセヌ、故ニ本案ハ否決セル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 無シ

○議長(公爵德川家達君) 採決イタシマス、本案ノ第二讀會ヲ開クベシトス

ラレタモノト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 議事日程第十六、獸疫豫防法中改正法律案、衆院提出、第一讀會ノ續、委員長報告、北垣男爵

獸疫豫防法中改正法律案

右否決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

明治四十二年三月二十三日

右特別委員長  
男爵 北垣 國道

貴族院議長公爵德川家達殿

〔男爵北垣國道君演壇ニ登ル〕

○男爵北垣國道君 本案ノ特別委員會ノ結果ヲ報告イタシマス、此委員會ハ昨日開キマシタ、出席委員ハ七人、政府委員ハ農商務次官、農務局長、此二人が出席ニナリマシタ、此獸疫豫防法案ハ頗ル重大ノ法案デアリマスガ、此改正法案ハ誠ニ簡單デ、之ヲ付キマシテ質問ト政府委員ノ答辯ト、其上ニ付イテ討議ノ有様ヲ概略申上ゲマス、質問ハ種々アリマシタ、各委員ソレソレ質問ガアリマシタ、又政府委員ハ明瞭ニ一々答辯ガアリマシタ、併ナガラ其質問ハ大同小異デ、之ヲ一々御報告イタシマスルト日ガ暮レマスカラ取纏メテ短ク申上ゲマス、此委員ノ質問ノ概要ハ、獸疫豫防法ハ獸疫ノ猖獗ヲ防遏スペキ大切ナル法律デアリマスルカラ、十分ニ政府ニ於テモ御意嚮ガアルデアラウ、就キマシテハ此改正案ハ誠ニ簡單ノモノデ、唯第十條ノ一項中ニ一號ヲ加ヘマス事ト、一ツハ手當金ヲ増加スル事ト、此ニツヨリアリマセヌ、是モ決シテ理由ノ無イ事トハ考ヘマセヌガ、政府ハ此重要ナル法律ニ對シテ僅ニ其改正案ニ満足セラレルヤ否ヤ、コレデ十分ナ獸疫猖獗ノ豫防ガ出來マスカ、ソレヲ伺ヒタイト云フノガ一ツノ尋ねデアリマス、モウ一ツハ獸疫猖獗ノ際ハ其營業者ハ非常ナ困難ヲ致シマス、其慘状ハ見ルニ忍ビヌ有様ト云コトヲ聞イテ居リマス、是等ニ對シテハ如何ナ政府ハ御考ヘカ、又法律ヲ以テ之ヲ救濟スルコトガ出來ヌトスレバ、行政處分ヲ以テ之ヲ救フコトガ出來ルヤ否ヤ、先づ縮メテ申シマスレバ此質問デアリマス、政府委員ノ答辯ハ、云フモノハ韓國ガ多イ、最モ韓國ガ多キニ居ル故ニ此豫防ヲ其實ヲ擧ゲムト思ヘバ、ドウシテモ其輸出ノ元ニ手ヲ付ケナケレバナラヌ、依ッテ政府ハ今朝鮮政府ト交渉中デアル、此交渉ノ調ウタ上ハ自ラ此法ニ改正ヲ要スルダラウ、

唯此今日出テ居リマスル所ノ改正案ニ依ツテ是デ満足ヲ得ルコトハ出來ナイ、是ニハ同意ハ出來ナイ、斯ウ云フ答ヘ、モウ一ツハ牛疫猖獗ノ際ニ營業者ガ困難ヲ極メルト云フコトハ見テ居ル、サリナガラ之ヲ救濟スルニ行政處分ヲ以テスルト云フコトハ到底出來ナイ、又此改正案ニ出テ居ル所ノ第十條ノ第一項第四號ノ下ニ一號ヲ増スト云フコトハ是モ無理ナラヌコト、思フ、サリナガラソレニシテモ是ノ程度ト云フモノハ

分ラヌ是ハマダ取調ベテ居ラナイカラ十分取調ベヌケレバ是ガ宜シキヲ得タルモノト云フコトハ判断ガ出來ヌ、斯ウ云フ答ヘデアリマシタ、大略斯ノ如キ答辯デアリマシタ、ソレデ各委員ハ此質問此答辯ニ依リマシテ種々審議ヲ盡シマシタハ其審議ヲ盡シタ上ニ於テ全會ノ一致デ否決ニナリマシタ、此否決ニナリマシタ次第ヲヨット申シマスルト、ドウモ此本案ハ經濟ノ上ニ於キマシテモ又一般衛生ノ上ニ於キマシテモ重大ナル問題デアル、之ヲ改正スル以上八十分ノ改正ヲシナケレバナラヌ、僅ニ今日出テ居ル所ノ改正案デ、之ヲ満足スルコトハ政府ノミナラズ委員ニ於テモ満足ガ出來ナイ、依ツテ全會一致ヲ以テ否決シタ次第デアリマス、故ニ其否決ノ際ニ委員ハ政府ニ希望ヲ述べマシタ、其希望ハ此法律ハ獸疫豫防ノミナラズ、一般衛生ノ上、獸畜繁殖ノ上ニ於テモ重大ナル關係ヲ有スルモノナルニ拘ラズ、三十三年以來改正ヲ見ザルニ依リ政府ハ成ルベク早ク十分ナル改正ヲ提出セラレムコトヲ望ム、又其改正案ヲ提出セラレル場合ニハ今般ノ改正案ノ趣旨モ能ク參酌セラレムコトヲ望ム、斯ウ云フコトヲ希望シマシテ政府モ異存ハアリマセヌ、斯ノ如キ結果ニナリマシタカラ之ヲ御報告イタシマス、何卒讀會省略ヲ以テ御決議アラムコトヲ希望シマス

○木村誓太郎君 私ハ政府へ質問ガアリマス、本案ニ對シマシテハ政府ハ矢張リ輿論ニ從ハレル御見込デアリマセウカ、此案ハ輿論ニハ從ハレヌ御見込デアリマセウカ、其點ヲ一應伺ヒタイ

〔政府委員押川則吉君演壇ニ登ル〕

○政府委員(押川則吉君) 此問題ハ明瞭ナル問題デゴザイマシテ唯今委員長カラ御報告ノ如ク政府ノ所見ハ申述ベテ置イタ、茲ニ輿論ノ如何ト云フコトハ問フコトハナイト思ヒマス

○男爵伊達宗敦君 チヨット委員長ニ御尋ネシマスガ、唯今讀會省略ト云フコトガゴザイマシタガ、アレハドウ云フヤウニナサル御考デアリマスカ

○男爵北垣國道君 アレハ間違デアリマス  
○議長(公爵德川家達君) 採決ヲ致シマス、本案ノ第二讀會ヲ開クベシトスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 無シ

○議長(公爵德川家達君) 起立者ハゴザイマセヌ

○議長(公爵德川家達君) 議事日程第十七、貴族院及衆議院速記技手恩給並遺族扶助料ニ關スル法律案、衆議院提出、第一讀會ノ續、委員長報告、吉井伯爵

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

明治四十二年三月二十三日

右特別委員長

伯爵 吉井 幸藏

〔伯爵吉井幸藏君演壇ニ登ル〕

○伯爵吉井幸藏君 本案ハ「明治二十三年九月以後貴族院及衆議院ノ速記ニ從事シタル者速記技手ニ任用セラレタルトキハ其ノ技手任用前ノ勤務年月數ヲ在官年月數ニ算入ス」ト云フ案デアリマス、デ此技手ノ制ガ出來マシタノガ明治三十二年デアリマシテ、二十三年ヨリ速記者ハ雇デゴザイマシタ、ソレデ其本官ニ任命サレル前ニ同ジ職務ニ服シテ居ツタカラ、ソレヲ本官ニ任ゼラレタ後ノ年月數ニ加算スルト云フ案デアリマス、委員會ニ於キマシテハ種々質問モ出マシテ、十分審議イタシマシタガ、政府ハ此案ニ反對ノ意見ヲ發表サレマシタ、其理由ハ斯ウ云フ例ガ無イ、ソレカラ官吏恩給法ト權衡ヲ失スルト云フヤウナ理由デアリマシタ、委員會ハ此速記技手ハ議院ニ於テハ誠ニ重要ナル技術家デアツテ、最モ精細ナル頭腦ヲ有ツテ居ルモノデ此技術ニ十分熟達シタ者ヲ置カナケレバナラヌ、置クノガ必要デアル、誠ニ重要ナ職務ヲ執ル者デアル、議院ニ於テハソレデ是ニハ特別ノ待遇方ヲ與ヘテ成ルベク良イ人ヲ永ク置クヤウニスルコトガ最モ必要デアルト云フ點デ本案ハ可決スベキモノデアル、云フコトニ決定ヲ致シマシテゴザイマスルカラ、此段御報告ヲ致シマス

○男爵伊達宗敦君 チヨット委員長ニ御尋ねシタイ、之ニ對シテ政府ノ反対ヲセラレタト云フ趣意ヲ御述べニナリマシタガ、十分ニ分リ兼ネマシタガ、甚ダ御面倒デゴザイマセウガ、モウ一ツ詳細ニ政府ノ反対ヲセラレタ所ノ理由ヲ伺ヒタイ

○伯爵吉井幸藏君 ソレハ政府委員ニ譲リマス

〔政府委員安廣伴一郎君演壇ニ登ル〕

○政府委員(安廣伴一郎君) 政府ハ本案ニ對シマシテ反対デゴザイマスルト云フ理由ヲ簡單ニ申述べマス、本案ハ至ッテ簡單ナル案デハゴザイマスルガ、事柄ソレ自身ハ實ニ重要ナル問題ト認メマスル、抑、官吏恩給法ノ根源ノ立テ方ト申シマスルモノハ、判任官以上ニナリマシテ始メテ恩給ヲ受ケル權利ガ發生シテ參リマスルノデゴザイマス、從ツテ又俸給ノ百分ノ一ヲバ國庫ニ納付スルト云フ義務ヲ生ジテ參リマスノデアリマス、高等官ノ試補デゴザイマスルトカ、判任官ノ見習デゴザイマスルトカ、是マデゴザイマシタ御用掛デアリマスルトカ、等外出仕ト云フヤウナモノハ總テ恩給年限カラ除算サレテ居ル次第デゴザイマス、然ルニ今此案ハドウデゴザイマスルカト云フト、雇デアリマスル所ノ年月ヲ技手ニナツテカラ通算スルト云フコトニナルノデゴザイマシテ、例ヘバ雇ヲ十四年十一箇月勤メテ居リマシテ、アト一箇月技手ヲ勤メレバ、ソレデ恩給ガ費ヘルト云フコトニナルト云フ法案デゴザイマス、是ハ過去ニ於ケルノミナラズ、是カラ將來ニ於ケル所ノ法律デアリマス、斯ノ如キコトニナリマスレバ、遂ニ恩給法ノ原則ト云フモノガ壞ハレテ仕舞フカト云フ虞レヲ有ツテ居リマス、今申シマス通り十四年十一箇月勤メテ、アト一箇月官吏ヲ勤メサヘスレバ恩給ガ費ヘルト云フコトデゴザイマシタナラバ、何デ十五年勤メテ恩給ガ費ヘナイカト云フコトガ直キニ出テ参リマス次第デゴザイマス、俗ニ申シマス蟻ノ穴カラ土手ガ崩レルト云フコトヲ申シマスガ、是ハ實ニ「トンネル」ノヤウナ大キナ穴ヲ恩給法ニ明ケルノデアリマス、遂ニ之ガ爲ニハ位階デゴザイマスルトカ、勳章デゴザイマスルトカ云フヤウナモノニマデ及ボシハシナイカト云フ虞レヲ有ツテ居リマス、本案ハ速記者ヲ優遇シヤウト云フ趣意ニ出デタルコトハ明カデゴザイマスガ、若シ果シテ速記者ヲ優遇スルコトガ必要デアリマスルナラバ、何ゾ必シモ極ク不條理ナル法律案ニ依頼スル必要ハ決シテ無イノデゴザイマシテ、他ニ其途ハ自ラアルノデゴザイマス、以上申シマスル通リノ實ニ極メテ不條理ナル

法案ト認メマスルニ依ツテ否決セラレムコトヲ希望イタシマス  
○男爵伊達宗敦君 モウ一應伺ヒマスガ、速記者ヲ優遇スルニハ他ニ適當ノ途ガアルト云フコトヲ御述べニナリマシタガ、ソレハ如何ナル途デゴザイマスカ、御尋ね致シマス

〔謹聽謹聽ト呼フ者アリ〕

〔政府委員安廣伴一郎君演壇ニ登ル〕

○政府委員(安廣伴一郎君) ソレハ例ヘバ之ヲバ判任官ニ致シマストカ、或ハ俸給ヲ増シマストカ云フ、他ニ途ハ幾ラデモアラウト思ヒマス、恩給ヲ必シモヤラナケレバ優遇ノ途ガ無イト云フコトハ少シモ無イノデアリマス  
○男爵伊達宗敦君 私ハ此案ニ簡單ニ贊成ヲ表スル意見ヲ述べタイト思ヒマス、今政府委員ノ言ハレルニハ若シ斯ウ云フコトヲシタナラバ、終ヒニハ位階ニモ關係ガアルト云フコトヲ言ハレマシタガ、サウ云フコトハ例ニナルマイト思ヒマス、位階勳章ニ關係ガアルト云フナラバ、後ニハ速記者ヲ男爵トカ子爵ニシナケレバナラヌガ、ソンナ途方モナイコトハナイ、アナタ政府委員モ矢張リ長ク勤メレバ恩給モ費ヘルデハナイカ、上官ノ者ノミニ厚クスルト云フコトハ抑、宜シクナイノデアル、實ニ此速記者ノ如キハ即チ此帝國議會ニ於テハ最モ必要ナモノデ、若シモ此速記ニ一ツノ過チガアルナラバ我ミノ言ハ悉ク違ツテ來ルノデアル、實ニ必要ナモノデアル、若シモ是ガナカリセバ今日議論ヲスルコトモ質問ヲスルコトモ、唯今政府委員ノ述ベラレタ、クダラナイヤウナコトモ筆記スルコトハ出來ナクナツテ仕舞フ、ソレデ是非ニコレハ恩給ヲヤルト云フコトハ適當ノコト、思ヒマスカラ私ハ之ニ贊成ヲ致シマス、一言贊成ノ意ヲ表シテ置キマス

○伯爵德川達孝君 本員モ伊達男爵ノ述ベラレタル如クニ此案ニハ贊成ヲ致シマス、今政府委員カラ反対ノ御意見モゴザイマシタガ、帝國議會ト云フモノハ他ノモノト違ツテ此速記技手ト云フモノ、働キト云フモノハ現在ニ非常ナモノデスカラ、ドウゾ諸君ニ於テモ本案ニ贊成セラレムコトヲ希望イタシマス、一言贊成ノ意ヲ表シテ置キマス

〔賛成ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 採決ヲ致シマス、本案ノ第二讀會ヲ開クベシトス

ル諸君ノ起立ヲ請ヒマス  
起立者 .....

○議長(公爵徳川家達君) 一應御著席ヲ請ヒマス、本案ノ第二讀會ヲ開クベカラズトスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵徳川家達君) 二讀會ヲ開クベカラズトスル方ガ多數ト認メマス、本案ハ否決セラレマシタ

○議長(公爵徳川家達君) 是ヨリ報告ヲ致シマス

〔河井書記官朗讀〕

所得稅法中改正法律案

右本院提出案及送付候也

明治四十二年三月二十四日

貴族院議長公爵徳川家達殿

衆議院議長 長谷場 純孝

○議長(公爵徳川家達君) 議事日程第十八、新聞紙法案、衆議院提出、第一讀會ノ續、委員長報告、波多野男爵

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

明治四十二年三月二十三日

右特別委員長

男爵 波多野 敬直

貴族院議長公爵徳川家達殿

〔男爵波多野敬直君演壇ニ登ル〕

右貴院ノ回付ニ係ル本院提出案本院ハ貴院ノ修正ニ同意シ奏上セリ因テ議院法第五十五條ニ依リ及通知候也

明治四十二年三月二十四日

衆議院議長 長谷場 純孝

貴族院議長公爵徳川家達殿

遠洋漁業獎勵法中改正法律案

第十八條第二項但書及第三項ヲ削ル

所得稅法中左ノ通改正ス

右特別委員長

男爵 波多野 敬直

貴族院議長公爵徳川家達殿

〔男爵波多野敬直君演壇ニ登ル〕

○議長(公爵徳川家達君) 唯今書記官ノ朗讀イタシマシタ所得稅法中改正法律案ハ衆議院ヨリ送付ニ相成リマシタ以上ハ規則上、特別委員ニ付託セネバナラヌト考ヘマス、議事日程ヲ變更シテ直チニ第一讀會ヲ開イテ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 所得稅法中改正法律案、衆議院提出、第一讀會、

特別委員ノ氏名ヲ書記官長ヲシテ朗讀イタサセマス  
〔太田書記官長朗讀〕

所得稅法中改正法律案特別委員

伯爵大原 重朝君 伯爵大村 純雄君 男爵北畠 治房君

男爵中島 久万吉君 富田 鐵之助君 仁尾 惟茂君

宮本 谷 藏君 澤原 俊雄君 下村辰右衛門君

○議長(公爵徳川家達君) 速ニ正副委員長ノ互選ヲ行ハレムコトヲ希望イタシマス

里以内ノ所ヲ是モ矢張リ市街ト同様ニ二千圓ト云フコトニナツテ居リマス、其第二ハ人口七万以上ノ市又ハ區其市又ハ區外一里以内ノ市ニ於テハ千圓、是ガ大抵今マデ七百圓クラキノ所デゴザイマス、其他ノ地方ニ於テハ三百五十圓ト申シマス所ガ五百圓ニナツテ居リマス、是ガ此改正ノ趣意デゴザイマシテ、此改正ノ趣意ハ矢張リ是マデ身許不確實ナル人タチガ新聞紙ヲ發行イタシマシテ脅喝取財其他ノ惡事ニ利用スルト云フ弊害ガゴザイマスルカラシテ、之ヲ豫防スル爲ニ此案ヲ改正サレタモノト思ヒマス、第二ハ第十九條ノ豫審ニ關スルヨトデゴザイマス、是ハ現行ノ法律ニ於キマシテハ重罪輕罪ノ豫審ニ關スル事項ハ公判ニ付セザル以前ニ於テ之ヲ記載スルコトヲ得ズ、斯ウナツテ居リマス、此改正案ニ於キマシテハ「豫審ノ内容」トアル、豫審ノ内容ハ絶對ニ記載スルヨトハナラス、其内容ト申シマスレバ先づ豫審係ガ調べ居ルヤウナコトデゴザイマス、ソレカラ被告事件即チ豫審ニ關スル事項ノヤウナモノデゴザイマス、是ハ特ニ檢事ガ差止メタル場合ニ限リマシテ、其他檢事ガ差止メヌ場合ニ於キマシテハ新聞社ガ自己ガ探訪ニ依ツテ記載イタシマスルコトハ自由デゴザイマス、然ルニ此檢事ノ差止メタルト云フ所ノ内ニ是マデゴザイマセヌ搜査ト云フコト入レマシタ、此搜査ハ矢張リ豫審以前ノコト……檢事ガ搜査シテ居ル内ニ新聞ニ記載イタサレマシテハ總テノコトガ破レルト云フ譯デ、是ハ最モ必要ナコトデアラウト見テ是ガ這入ツテ居リマス、ソコデ是ハ一面ニハ新聞ノ言論ノ自由ヲ少シ廣メタヤウニモアリマスルケレドモ、又一面ニハ取締ヲ嚴重ニシタ云フコトニナラウカト實ハ考ヘマス、又第二十三條デゴザイマス、是ハ現行ノ法律ニ於キマシテハ新聞ヲ差押ヘル場合ニ於キマシテハ矢張リ告發ヲスルト同時ニ差押ヘネバナラス、所ガ此改正案ニ依リマスルト内務大臣ガ此新聞紙ニ掲載イタシマシタル事項ガ暗ニ秩序ヲ紊シ又ハ風俗ヲ害スルモノト認メマシタルトキニハ直チニ販賣又ハ頒布ヲ禁ジ其他必要ノ場合ニハ之ヲ差押フルコトガ出來ル、是ハ行政處分デ此事ガ出來ルヤウニナリマス、其他第九條ニ於キマシテ是マデ編輯人ノ責任ガ幾ラカ不分明ナ所ガゴザイマシタ、ソレデ第九條ニ於キマシテ編輯人ノ責任ヲ明カニスル爲ニ第一項ガ出來タノデゴザイマス、其他澤山變ツテ居リマスガ、是ハ大概新聞ノ届出或ハ保證人ノ保證金ニ關スル事柄等ニアツテ格別重要トモ認ムセヌ、又罰則ニ於キマシテモ新タニ設定サレタルモノモゴザイマス、又是マデ體刑ト自由刑トヲ科シテ居リマシタノヲ之ヲ自由刑ノミ

ニシテ體刑ヲ省キマシタ場所ガゴザイマス、又罰金ヲ幾ラカ減ジタ所ガゴザイマス、又體刑ヲ廢シテ罰金ヲ殖ヤシタト云フコトモゴザイマス、是ハ彼此權衡ヲ得タルモノト實ハ考ヘマス、政府ニ於キマシテハ此案ハ全然同意デゴザイマシタ、委員會ニ於キマシテハ種々質問ノ末、一人ノ異議者モ無ク全會一致ヲ以テ本案ハ可決スベキモノト議定サレタ次第デゴザイマス、甚ダ簡略デゴザイマスガ、チヨット御報告イタシマス

○男爵武井守正君 チヨット質問ガアリマス、二十七條ニハ陸軍大臣、海軍大臣及外務大臣ハ命令ヲ以テ豫メ制裁スルコトガ出來ルヤウニナツテ居リマス、二十三條ニハ何等規定スル所ガアリマセヌ、若シ掲載ヲ致シタ場合ニ三大臣ハ……内務大臣ハ禁止差押ノヤウナコトハ出來マセヌヤウニ考ヘラレマスガ、ソレデハ事實ノ上ニ於テ差支ヘルト存ジマス、外交軍事ノコトハ二十三條ニ於テ制裁ヲ加ヘズシテ宜イ御考ヘデゴザイマスカ、一應伺ヒタウゴザイマス、唯今委員長カラ政府ハ全然同意ヲサレタト云フ報告デアリマスカラ、政府ニ向ツテ質問ヲ致シマス

〔政府委員有松英義君演壇ニ登ル〕

○政府委員有松英義君 二十七條ニ依リマシテ陸軍大臣、海軍大臣若クハ外務大臣ニ於テ新聞紙ニ對シマシテ命令ヲ以テ軍事若クハ外交ニ關スル事項ノ掲載ヲ禁止シ若クハ制限サレマシタ場合ニ於テ若シ之ニ反シタナラバ二十三条ノ適用ヲ爲シ得ルヤ否ヤト云フ御尋ねノヤウニ承リマスルガ、二十三條ハ安寧秩序ヲ紊スモノニ對シマシテハ行政上ノ處分ヲ爲シ得ルコトニ相成ツテ居リマスルカラ、如何ナル條項ニ依リマシテ處罰セラレマスルト、セラレマセヌトニ拘ラズ、凡ソ軍事若クハ外交ニ關シマシテ妨ゲアル事項ヲ新聞紙ニ掲載イタシマシタル場合ニ於テ、其程度安寧秩序ヲ紊スニ至ルモノト認メシタトキニハ、當然第二十三條ニ依リマシテ行政上相當ナ處分ヲ致サナケレバナラヌコト、本條ヲ解釋イタシテ居リマス

○男爵武井守正君 本員ノ御尋ねト御答ガ齟齬イタシマスヤウデアリマスガ、第二十三條ニ各大臣ガ命令ヲ發シテ、ソレニ背イタトキト申シマスモノガ無イノデアリマス、二十七條ニ陸軍大臣、海軍大臣及外務大臣ガ命令ヲ發シテ云々ト申スノハ未發ニ防クトキノコトニ讀マレマシタ、若シ未發デナイ偶、掲載イタシマシタコトガ軍事外交ニ害アリトシマシタトキハ、二十三條デ制裁ヲスル外ナイト存ジマス、故ニ安寧秩序云々ト云フ場所ニ、ナゼ軍事

外交ト云フ文字ガ加ヘラレテ居ラヌカト云フ疑ヒヲ起シマシタ、今御説明ノ安寧秩序ノ中デ出來ルカノ如キ御答デゴザイマシタガ、尙ホ明カニ御答辯ヲ願ヒタ

## 〔政府委員有松英義君演壇ニ登ル〕

○政府委員(有松英義君) 二十三條ニハ軍事又ハ外交ニ關係イタシマスル明文ハ此案ニハ掲ゲテアリマセヌノデゴザイマス、併ナガラ苟モ安寧秩序ヲ害スルト認ムベキ場合ニ於テ、其事項ガ軍事又ハ外交ニ關係イタシテ居リマシテモ無論本條ノ命令デ取締ヲ爲スベキ筈デアラウト存ジマスルデ、既ニ安寧秩序ヲ素シタ場合ハ行政處分ヲ爲シ得ル規定ガアリマス以上、別段ニ軍事又ハ外交ニ妨ゲヲ及ボスベキ場合ヲ規定スル必要ハナイコト、考ヘマス、總テ安寧秩序ヲ素ス中ニ包含イタシテ居ル意見デアリマス

○議長(公爵徳川家達君) 採決ヲ致シマス、本案ノ第二讀會ヲ開クベシトスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

## 起立者

多數

○議長(公爵徳川家達君) 過半數ト認メマス

○伯爵大原重朝君 直チニ第二讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○男爵西五辻文仲君 贊成

○男爵松平正直君 贊成

(其他「贊成」ト呼フ者多シ)

○議長(公爵徳川家達君) 直チニ第二讀會ヲ開イテ御異存ゴザイマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

明治四十二年 月 日

○議長(公爵徳川家達君) 全部ヲ問題ニ供シマス……全部、委員長ノ報告通

リデ御異存ゴザイマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

意見書案

✓ 郵便局設置ノ件

島根縣那賀郡木田村長佐々岡延藏呈出

右ノ請願ハ請願人等ノ地方ニ於テハ郵便局ノ配置宜シキヲ失ヒ郵便物ノ遲著甚シタ不便少カラス又郵便貯金額ノ少キモ之ニ基クモノナルヲ以テ島根縣那賀郡木田村ニ郵便局ヲ設置シテ此等ノ闕點ヲ補ハレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

内閣總理大臣侯爵桂太郎殿

貴族院議長 公爵徳川家達

意見書案

青森縣上北郡三本木村士族公吏河村碌外五十五名呈出

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○伯爵大原重朝君 直チニ第三讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○男爵西五辻文仲君 贊成

(「其他「贊成」ト呼フ者多シ」)

○議長(公爵徳川家達君) 直チニ第三讀會ヲ開イテ御異存ゴザイマセヌカ  
リデ御異存ゴザイマセヌカ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス  
(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(公爵徳川家達君) 直チニ第三讀會ヲ開イテ御異存ゴザイマセヌカ  
(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

右ノ請願ハ青森縣ハ牛馬ノ產地ニシテ曩ニ畜產學校ヲ設立シテ斯業ニ貢獻セシコト少カラサリシモ尙世界ノ各國ニ比シテ斯業ノ幼稚ナルコト驚クヘ

キモノアルヲ以テ畜産教育ノ進歩ヲ圖ル爲同校ヲ専門學校トナスノ必要アリト雖到底縣經濟ノ許サナルヲ以テ國費ヲ以テ同縣ニ畜産專門學校ヲ設立セラレタントノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト

議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治四十二年月日

貴族院議長 公爵德川 家達

内閣總理大臣侯爵桂太郎殿

意見書案

四國鐵道速成ノ件

徳島縣美馬郡三島村平民農竹田源七呈出

右ノ請願ハ四國鐵道中高松高知須崎間及川田小島間ノ線路ハ四國地方ニ於ケル交通上ノ利便ヲ開發スルニ最緊要ナルヲ以テ第一期線ニ繰上ケ之ヲ速成セラレタントノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治四十二年月日

貴族院議長 公爵德川 家達

内閣總理大臣侯爵桂太郎殿

意見書案

共同苗代ニ關スル件

廣島縣山縣郡大朝村平民農石川勝吉外五百三十七名呈出(四通)

右ノ請願ハ廣島縣ニ於テハ縣令ヲ以テ共同苗代ノ實施ヲ強制セラレタルモ此ノ制ハ他縣ニ於ケル實例ニ徵シ及實際ノ研究ニ鑑ミルモ徒ニ農民ヲ苦シムル無益ノモノナルヲ以テ政府ニ於テ適當ナル救濟方法ヲ講セラレタントノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治四十二年月日

貴族院議長 公爵德川 家達

内閣總理大臣侯爵桂太郎殿

意見書案  
郡界變更ノ件

栃木縣鹽谷郡栗山村長高山久之丞呈出

右ノ請願ハ栃木縣鹽谷郡栗山村ハ所轄郡役所及區裁判所ノ所在地ヲ距ルコト甚遠ク交通不便ニシテ公務澁滯シ無用ノ失費多キニ反シ所轄警察署林區署土木官衙ハ悉ク上都賀郡内ニ在リ又其ノ諸町村トハ取引頻繁ニ交通ニ便ナルヲ以テ住民ノ熱望ヲ容レ同村ヲ上都賀郡ノ區域ニ移サレタントノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十  
五條ニ依リ別冊及送付候也

明治四十二年月日

貴族院議長 公爵德川 家達

内閣總理大臣侯爵桂太郎殿

○議長(公爵德川家達君) 請願委員長報告通り採擇ヲ致シテ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 議事日程第二十四、秋田市水道國庫補助ノ請願、第二十五、能樂獎勵ノ請願、第二十六、宅地組換ノ請願、第二十七、新津新發田間鐵道速成ノ請願、第二十八、煙火ノ輸出ヲ挽回スル爲特別規程制定ノ請願、會議

意見書案

秋田市水道國庫補助ノ件

秋田縣秋田市參事會市長大久保鉄作呈出

右ノ請願ハ秋田市ニ於テハ飲料水ニ乏シク從來水道ノ必要ヲ認メシカ鐵道兵營ヲ設ケラレタルヨリ之カ設備ノ急要ナルニ至リ奮テ施設ニ著手シタルモ國庫ノ補助他ノ諸市ニ比シテ甚薄ク又水害復舊ノ爲更ニ工事ヲ増加スル、ノ已ムナキニ至リ此等ノ費用ハ到底市民ノ負擔ニ堪ヘサル所ニシテ殆其ノ完成ヲ期スル能ハサルノ情況ナルヲ以テ更ニ國庫補助ヲ與ヘラレタントノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治四十二年月 日

貴族院議長 公爵德川家達

内閣總理大臣侯爵桂太郎殿

意見書案

能樂獎勵ノ件

東京市牛込區新小川町士族能樂師觀世清廉外四名呈出

右ノ請願ハ能樂ハ我國固有ノ長技ニシテ維新以來甚シク衰微ニ歸シタルモ  
毫モ卑猥ノ聲態ナク最慶弔公式神事ニ通シ且矯風ノ一助タルヘキモノナル  
ヲ以テ政府ニ於テ之カ獎勵方法ヲ設ケラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願

意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及  
送付候也

明治四十二年月 日

貴族院議長 公爵德川家達

内閣總理大臣侯爵桂太郎殿

意見書案  
宅地組換ノ件

長野縣諒訪郡上諒訪町平民農宮坂里見外二十八名呈出

右ノ請願ハ長野縣諒訪郡上諒訪町ノ内角間新田區ノ宅地ハ曩ニ市街宅地ニ  
組換ヘラレタルモ同區ハ谿間ノ僻地ニシテ商買ヲ營ムニ適セス縋ニ農ヲ以  
テ生業トナスマモ土地瘠蕪ニシテ其ノ收穫タルヤ往往公租ト勞費トヲ償フニ  
足ラス到底市街宅地タルノ負擔ニ堪ヘサルヲ以テ之ヲ郡村宅地ニ變換シ明  
治四十二年度ヨリ其ノ税率ニ依リテ徵稅セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院  
ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別  
冊及送付候也

明治四十二年月 日

貴族院議長 公爵德川家達

内閣總理大臣侯爵桂太郎殿

意見書案

新津新發田間鐵道速成ノ件

新潟縣北蒲原郡新發田町長中屋重道外三十五名呈出

右ノ請願ハ新津新發田間ノ鐵道ノ敷設ハ地方交通上ノ利便ヲ開發スルノミ  
ナラス殖產興業ノ發達及軍事上最緊要ナルヲ以テ之カ經費ヲ明治四十三年  
度ノ豫算ニ編入シ之ヲ速成セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體  
ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治四十二年月 日

貴族院議長 公爵德川家達

内閣總理大臣侯爵桂太郎殿

意見書案

煙火ノ輸出ヲ挽回スル爲特別規程制定ノ件

東京市下谷區仲御徒町平民鹽田真呈出

右ノ請願ハ煙火ハ從來盛ニ外國ニ輸出セラレシモ明治三十五年遞信省令第  
三十九號ノ發布セラレシヨリ以來輸出甚シク減少シタルヲ以テ之ヲ挽回セ  
シムル爲速ニ同省令第二條第二項ト同様ノ特別規定ヲ制定シ燐寸等ニ於ケ  
ルカ如ク煙火船積ノ便ヲ與ヘラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體  
ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治四十二年月 日

貴族院議長 公爵德川家達

内閣總理大臣侯爵桂太郎殿

○議長(公爵德川家達君) 總テ請願委員長報告通り採擇ヲ致シ政府ニ送付イ  
タシテ御異存ゴザイマセヌカ

(「異議ナシ」と呼フ者アリ)

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認ヌマス

○議長(公爵德川家達君) 是ニ於テ散會ヲ告ゲマス

午後四時二十一分散會